SAVE THE SOUND

HiFi digital music server　OLIVE 3HD・4HD

Owner’s manual

OLIVE 3HD・4HD　取扱説明書

はじめに ——— 4
3HD と 4HD の相違点 ……4
各部の名称(前面) ——— 7
1：4.3 型カラー液晶ディスプレイ ……7
2：ナビゲーションボタン ……7
3：プレーヤー操作ボタン ……8
4：スタンバイ on ／ off ボタン ……8
5：ディスクドライブ ……8
各部の名称(後面) ——— 9
6：電源スイッチ ……9
7：電源コネクタ ……9
8：無線 LAN 用アンテナコネクタ ……9
9：デジタル入力端子(ピンジャック・SP － DIF) ……10
10：デジタル出力端子(ピンジャック・SP － DIF) ……10
11：デジタル出力端子(TOS リンクコネクタ) ……10
12：アナログ出力端子(ピンジャック) ……10
13：USB 端子(バックアップ・レストア用) ……11
14：HDMI 出力端子 ……11
15：有線 LAN 用コネクタ ……12
16：IR コネクタ ……12
電源を入れる・電源を切る ——— 13
画面のキャリブレーション ——— 14
ナビゲーションバー ——— 15
リモートコントローラ ——— 17
スクリーンキーボードを使う ——— 22
操作画面の表示を切り換える ——— 23
メニュー画面に入る ——— 24
ミュージックライブラリ ……25
音源 ……26
インターネットラジオを聴く ……27
設定 ……29
表示言語を変更する ——— 37
ネットワークに接続する ——— 39
CD を再生する ——— 41
CD からインポートする ——— 42
PC からインポートする ——— 44

ウィンドウズのコンピュータの場合 ……44
MAC コンピュータの場合 ……45
音楽ソースを聴く・CD に焼く・削除する ——46
CD にコピーする(CD に焼く) ——47
デジタル入力から再生する ——48
この機能は 4HD のみです。 ——48
音楽コレクション管理ソフト “MAESTRO” ——49
マエストロでメタデータを編集する ……55
アルバムアートワークをアップロードする ……56
iPhone・iPod とマエストロ ……57
バックアップとレストア(復元) ——58
バックアップする ……58
レストア(復元)する ……59
ファームウェアのアップデート ——60
FAQ ——61
著作権・免責 ——66
保証について ——67
本機の規格 ——68

はじめに

このたびは OLIVE 3HD・4HD をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。本機はハードディスクドライブを内蔵した CD プレーヤーで、多機能ハイファイ・デジタル・ミュージックサーバーとしての多くの機能を持っています。

ピュア・オーディオ・ファイルが満足するハイファイ・サウンドを演奏し、新しいデジタル音楽の楽しみ方や管理する楽しさを提案するハイファイ・デジタル・ミュージックサーバーとして、必ずやお客様のご期待に添えるものと確信しています。

ご使用の前に本説明書を充分にお読みいただき、末永くご愛用いただきますようお願いいたします。

3HD と 4HD の相違点

オリーブ 3HD は、オリーブ 4HD の機能を基本的なものだけに限定し、お買い求め安い価格を設定した兄弟機種です。両者の相違点は下記の通りですが、これ以外にも若干の相違点はありますのでお含みおきください。

- 3HD の LAN 関連機能は有線 LAN のみ、無線 LAN 関連機能はありません。
- 3HD の入出力端子はアナログ出力、USB コネクタ、有線 LAN コネクタのみです。これ以外の入出力端子はありません。
- 時計関連機能は 4HD のみです。3HD には時計関連機能はありません。
- 音量調整関連機能は 4HD のみです。3HD には音量調整関連機能はありません。音量表示のバーグラフは表示しますが、音量調整関連機能を実装していないのでこの表示は無効です。
- 3HD にはミュート機能はありません。不用意にミュート操作をすると本機はハングアップする場合がありますから、その場合は再起動させてください。
- 内蔵ハードディスクドライブの容量は 4HD は 2TB、3HD は 500GB です。
- ファームウェアは両者共通です。

ご使用上の注意　下記の点にはとくにご注意ください。

落下させたり、強い衝撃を与えないようにご注意ください。

本機に使用されているハードディスクドライブは非常に衝撃に弱い部品です。本機は取り付け方法に工夫をしてありますので通常のご使用で障害が発生することはありませんが、梱包してある状態であっても高い場所から落下させたり、強い衝撃を与えるとハードディスクドライブ内部に記録してある音楽データや、本機を動作させるためのソフトウエァを破損する場合があります。特に、本機の動作中に強い衝撃が加わると音楽データが破損するだけでなく、ハードディスクドライブが物理的に破損して、最悪の場合は本機が起動しないなどの不具合に繋がる場合があります。本機自体の落下は元より、上にものを落としたり、強くぶつけたりしないように十分ご注意ください。

画面のキャリブレーションを実施してください。

本機は前面パネルのタッチパネルによる操作が可能ですが、初めて本機をご使用になる際には必ず、画面のキャリブレーションを実施してください。また、ご使用中にタッチパネルが動作を受け付けなくなったような場合は、画面のキャリブレーションをすることによって復旧することがありますのでお試しください。

「画面のキャリブレーション」の方法は、本説明書の「電源を入れる・電源を切る」の項目の次に記載しております。

ネットワーク接続時のパスワードをご確認ください。

本機を家庭内 LAN などのネットワーク環境に接続なさる場合、ネットワークに WEP(Wired Equivalant Privacy)キーや、WPA(Wi-Fi Protected Access)キーなどの、セキュリティコードが設定されていますと、本機を使用したネットワーク環境設定の際にパスワードなどが必要になります。あらかじめご用意ください。

ウィルス対策ソフトなどのご使用の際のご注意。

本機は家庭内 LAN などのネットワーク環境に接続することで様々な機能をご使用いただくことができますが、希に本機と同じネットワーク内でご使用になっているコンピュータにインストールされたウィルス対策ソフト、セキュリティソフト、若しくはネットワーク接続の

状態を監視する様々なプラグインソフトの動作によって、本機が認識されない、もしくは正常に動作しない、またはコンピュータによる編集機能「マエストロ」が正常に動作しないなどの不具合が発生する場合があります。

これらの症状が発生した場合は想定されるソフトの使用を一時中断していただき、不具合が改善されるか・改善されないか、をご確認ください。また、不具合を起こすソフトが確認された場合は、そのソフトの修正ツールをインストールするなどの対策を講じていただくか、そのソフトのご使用を中止してください。ご不明な点は、当該ソフトの製作・販売会社のサポート窓口にお問い合わせください。

- 本機の過熱を防ぐために直射日光の当たる場所や暖房器具の付近など、周囲温度の上昇し易い場所には設置しないでください。
- 本機を湿気やホコリの多い場所で使用しないでください。また、金属類や水などが本気内部に入りますと故障や事故の原因となりますので十分ご注意ください。
- 本機の筐体には角張った箇所や接合部などの鋭利な部分があります。設置、移動に際しては指をケガしたり、衣服を引っ掛けないようご注意ください。
- 本機の設置や移動の際は、腰や関節を痛めないように充分に腰を下ろして持ち上げるようにしてください。中腰の姿勢で持ち上げることは危険です。
- 本機内部にはお客様に調整していただく箇所はありません。感電の恐れがありますので、天板を開けたり分解したりすることは絶対にお止めください。
- 本機を長期間ご使用にならない場合は、本機リアパネルの電源スイッチを切るか、電源ケーブルをコンセントから抜くようにしてください。
- 本機の外箱や梱包材は引っ越しや修理のための輸送など、将来本機を移動する際に役に立ちますので、必ず保管していただきますようお勧めいたします。

各部の名称(前面)

- 3HD と 4HD は外観形状は異なりますが、スイッチ類の配置は共通です。
- 下記の写真は 4HD のものです。

1：4.3 型カラー液晶ディスプレイ

(5)のディスクドライブに装填した CD に収録されている音楽や、HDD に収録されている音楽の情報を表示します。このディスプレイに表示する情報はリアパネルの HDMI 出力端子(14)を経由してテレビや外部ディスプレイなどに表示させることも可能です。このディスプレイの解像度は 480 ピクセル ×272 ピクセル(約 130 万画素)です。ディスプレイはタッチ式パネルスイッチを兼ねていますので、余り強く押しすぎないようにご注意ください。

2：ナビゲーションボタン

液晶ディスプレイ(1)のハイライトしているカーソルの部分を移動させて選択する為に使用します。中央の〇印のボタン(決定ボタン)の周囲を△のボタンが上・下・左・右に取り囲んでいます。

- 周囲の△のボタンを押すと、三角の尖った方向にハイライトしている部分が移動します。
- 中央の〇印のボタンを押すと、選択した内容を確定することができます。
- 文字入力をする際に、液晶ディスプレイ(1)にスクリーンキーボードが現れていれば、周囲の△ボタンで文字を選択し、OK ボタンで確定させて文字入力を進めることも出来ます。
- 右向きの△ボタンを押すと、順次メニュー階層を辿って(下がって)行きます。
- 左向きの△ボタンを押すと、順次メニュー階層を遡って(上って)行きます。
- 右向きの△ボタンと左向きの△ボタンを同時に押すと、液晶ディスプレイ(1)の画面に表示している内容を HDMI 出力端子(14)にのみ出力するようになります。この時、液晶

ディスプレイ(1)には画像を表示しなくなります。再度左・右の△ボタンを同時に押すと液晶ディスプレイ(1)にのみ画像を表示するようになり、HDMI 出力端子(14)には画像を表示しなくなります。

◆ **液晶ディスプレイ(1)と HDMI 出力端子(14)に同時に画像を表示することはできません。**

◆ **3HD には HDMI 端子に信号を出す機能はありません（HDMI 端子がありません）。**

3：プレーヤー操作ボタン

本機の CD プレーヤー機能を使用する際に用いる操作ボタンです。本機の CD 演奏機能だけを使う場合は、このプレーヤー操作ボタンだけで本機の操作が出来ます。

A、B、C、の 3 つのボタンは付属リモコンにも装備されていますが、D のボタン(CD 排出ボタン)は本機の本体のみで、付属リモコンには装備されていません。

Ａ：このボタンを押すと 1 曲戻し、早戻しとなります。

Ｂ：このボタンを押すと CD の演奏を始めます。

◆ もう一度押すとポーズ(一時休止)状態になります。

◆ 再度押すと、ポーズ(一時休止)が解除され演奏を再開します。

◆ 3 秒間程長押しすると CD の演奏を終了します。

◆ トラック名が一覧表示されている際に押すと、ハイライトされているトラックの演奏を開始します。

C：このボタンを押すと 1 曲送り、早送りとなります。

D：このボタンを押すと CD をディスクドライブ(5)から排出します。

4：スタンバイ on ／ off ボタン

裏面の電源スイッチ(6)を操作して主電源が入った状態にしてあれば、日常的な電源操作は、このボタンのみで行うことができます。このボタンを押すとスタンバイ状態が解除され電源が入り、再度このボタンを押すとスタンバイ状態に戻ります。

ハングアップした場合はこのボタンを 5 秒間以上押し続けると本機は再起動します。

5：ディスクドライブ

スロットイン式のディスクドライブで、ディスクをスロットに挿入し、押し込んでやると本機が自動的にディスクを引き込みます。なお、本機の構造上、対応しているディスクは 12cm ディスクのみです。8cm ディスクは使用出来ません。

各部の名称(後面)

6：電源スイッチ

本機の主電源スイッチです。－を押すと主電源が入ります(－とは “in” の意味です)。〇を押すと主電源が切れます(〇とは “off” の意味です)。通常は－側を押し込んだままの状態でお使いください。ご旅行などで長期間ご不在になるような場合や、本機を他のオーディオ・ビジュアル機器に接続作業をする場合などのみ、〇側を押して電源をお切りください。

7：電源コネクタ

本機に付属の AC 電源ケーブルを接続するコネクタです。このコネクタに接続するケーブルは、必ず本機に付属のケーブルをお使いください。本機に付属のケーブルは本機専用ですので、他の機器に使用することはお止めください。また、他の機器の AC 電源ケーブルを本機に使用なさることもお止めください。

8：無線 LAN 用アンテナコネクタ

この機能は 4HD のみです。

本機を無線 LAN でネットワークに接続する場合は付属のアンテナを 8A のコネクタに取り付けてください。極端に無線 LAN の信号が強い環境でお使いになる場合は 8B のコネクタをお使いください。信号が弱い環境では、複数のアンテナを取り付けてお使いください。複

数のアンテナを同時に使う場合は、アンテナ同士の角度が 90° になるよう取り付けてください(時計の針の 12 時と 3 時のような位置関係になります)。アンテナは 1 本のみ付属していますので、追加でご入用の場合は市販の無線 LAN 用アンテナをお買い求めください。

9：デジタル入力端子(ピンジャック・SP ー DIF)

この機能は 4HD のみです。

他の CD プレーヤーのデジタル信号を本機に取り込んで再生する際に使用する端子です。この場合、本機は(他の CD プレーヤーから見た場合は)外付け DAC として機能することとなります。

10：デジタル出力端子(ピンジャック・SP ー DIF)

この機能は 4HD のみです。

本機のデジタル信号を、他の DAC 等でアナログ化して再生する際に使用する端子です。(11)の TOS リンクコネクタと同時に接続した場合は、こちらの SP-DIF 端子が優先され、TOS リンクコネクタからは信号が出力されなくなります。

TOS リンクコネクタと SPDIF 端子に同時にケーブルを接続すると、ノイズが発生する場合があるのでご注意ください。デジタル出力端子は、どちらか一方のみ、お使いになる端子にのみ接続してください。

11：デジタル出力端子(TOS リンクコネクタ)

この機能は 4HD のみです。

本機のデジタル信号を、他の DAC 等でアナログ化して再生する際に使用する端子です。(10)の SP-DIF 端子と同時に接続した場合は、SP-DIF 端子が優先され、こちらの TOS リンクコネクタからは信号が出力されなくなります。

TOS リンクコネクタと SPDIF 端子に同時にケーブルを接続すると、ノイズが発生する場合があるのでご注意ください。デジタル出力端子は、どちらか一方のみ、お使いになる端子にのみ接続してください。

12：アナログ出力端子(ピンジャック)

本機のアナログ音声を、他の接続機器に送り出すための端子です。この端子はいわゆる「ラインレベル」です。本機と一緒にお使いになるプリメインアンプ・プリアンプなどのラインレベル入力、LINE　IN 端子、AUX 入力などに接続してお使いください。この出力端子の音

声信号は、音量調整が可能です(いわゆるプリアウト的な出力端子とお考えください)。

13：USB 端子(バックアップ・レストア用)

本機の内蔵ハード・ディスク・ドライブ(HDD)に収録した音楽ソースのバックアップを、外付け HDD に取る際に使用します。また、バックアップを取った外付け HDD からレストアする際にもこのコネクタを使用します。ご使用になる外付け HDD は下記の条件を満たしている必要があります。

- ◆ USB 接続の外付けハード・ディスク・ドライブであり、
- ◆ FAT － 32 型式でフォーマットされており、
- ◆ 本機の内蔵 HDD(2TB)の容量以上の大きさであること、
- ◆ USB1.1 ないしは USB2.0 規格に準拠した機器であること、

バックアップには概ね 5 時間から 10 時間以上の時間を要します。USB3.0 規格の機器を接続された場合の動作は保証いたしかねます。

この端子は外付けハードディスクドライブを接続してのバックアップ・レストア用です。音楽ソースを収録した USB メモリなどを接続しても、音楽再生出来ません。

14：HDMI 出力端子

この機能は 4HD のみです。

本機のフロントパネルの液晶ディスプレイ(1)に表示されるディスク情報と同じ内容を、テレビや外部ディスプレイなどに表示する際に使用するコネクタです。本機の HDMI 出力端子の信号(画像)はバージョン 1.3a 以降の機器で正常に再生することができます。バージョン 1.3 以前の機器では正常に動作せずに「画面が揺らぐ」などの支障が生じる可能性がありますのでご注意ください。

初期設定ではディスク情報はフロントパネルの液晶ディスプレイ(1)にのみ表示されますが、ナビゲーションボタン(2)を操作することで、本端子を経由して外部ディスプレイなどに表示させることが可能になります。ナビゲーションボタン(2)の左・右の△ボタンを同時に押すと本端子を経由して外部ディスプレイに表示するようになります。この時、液晶ディスプレイには画面を表示しなくなります。再度左・右の△ボタンを同時に押すと液晶ディスプレイ(1)に画像を表示するようになり、本端子経由では画像を表示しなくなります。

15：有線 LAN 用コネクタ

本機を有線 LAN、家庭内 LAN などに接続する際に使用する、いわゆるワーヤード接続(有線接続)するためのコネクタです。LAN 接続してあれば、ネットワークに接続されているコンピュータで本機を操作したり、音楽ソースを転送、編集などの操作が出来ます。

本機をルータなどと接続してネットワークを構成する場合は、ストレートタイプの LAN ケーブルをご使用ください。

16：IR コネクタ

この機能は 4HD のみです。

オプションの外付けリモコン受光部を接続するための端子です。外付けリモコン受光部は将来発売を予定しています。

インターネットブラウザ(インターネット閲覧ソフト)である「Firefox」をインストールしてあるコンピュータと本機を同一のネットワークに接続すると、音楽コレクションの編集・管理するためのインターネット上のソフトウェア「マエストロ」を使って、コンピュータ側で本機のミュージックライブラリの操作が可能になります。インターネット・エクスプローラ、サファリ、オペラなど、他のブラウザでは「マエストロ」を使用することができません。

- **「マエストロ」はインターネット上で動作するソフトウェアですので、マエストロ自体をダウンロードなさる必要はありません。**
- **「マエストロ」が対応するインターネットブラウザは「ファイアフォックス」のみです。これ以外のブラウザでは「マエストロ」をご使用になることはできません。「ファイアフォックス」をご使用になる場合は、このソフトをダウンロードして、お使いになるコンピュータにインストールしていただく必要があります。**
- **「マエストロ」「ファイアフォックス」のご使用は無料です。**

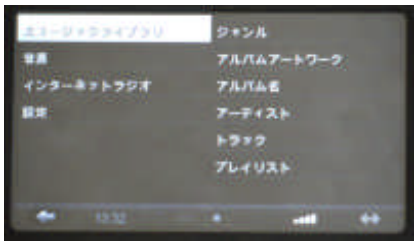
電源を入れる・電源を切る

本機のリアパネルに設置されている電源スイッチ（6）を操作して電源が入ると、本機は液晶ディスプレイに下記のような画面を暫く表示します。この画面は白地に銀灰色の文字です。

続いて色合いが逆転し、黒地に白文字でオリーブ社の小さなロゴと時間、日付を表示して下記のような状態となります。下の画面では現在の日時が 2010 年（平成 22 年）2 月 25 日、午前 2 時 17 分 28 秒であることを示しています。時刻の表示は 24 時間表示、年月日は英語表示となり。変更はできません。

上の状態の画面が表示されている状態で、画面の任意の場所をタッチすればメニュー画面に入ることが出来ます。また、上の状態の画面が表示されている状態であればリアパネルに設置されている電源スイッチ(6)を操作して電源を切ることも可能です。

但し、電源スイッチ(6)で電源を切ってしまうと再起動までに時間が掛かるので、通常はフロントパネルのスタンバイ on ／ off ボタン(4)か、付属リモコンのスタンバイ on ／ off ボタンを操作してスタンバイ状態にしてください。スタンバイ状態になると、本機の液晶ディスプレイ(1)は消灯します。



ロゴ、時刻、日付を表示した画面で、ディスプレイの任意の場所をタッチすると、右のようなメニュー画面を表示して待機します。
この時、「ミュージックライブラリ」のメニューがハイライトされた状態でメニュー画面を表示します。

画面の最下段にはアイコンが整列したナビゲーションバーを表示しています。ナビゲーションバーについては、別の項目で説明いたします。

画面のキャリブレーション

本機の液晶ディスプレイ(1)はタッチパネルとしてお使いいただくことができるように、非常に繊細・精密な部品を使っていますので、必要に応じキャリブレーション(較正)をしていただく必要があります。本機を初めてお使いになる場合は、ご使用に先だって一旦、画面のキャリブレーションを行っていただきますようお勧めいたします。また、ご使用状況によっては希に液晶ディスプレイ(1)のタッチパネルをタッチしても本機が反応しなくなる場合がありますが、そのような場合でも画面のキャリブレーションを行っていただくと解消する場合がありますのでご記憶ください。

1．セッティングメニューに入り、設定＞システムサービス＞画面のキャリブレーションとメニュー階層を辿ってください。

2．右のような画面が現れたら、左上の「＋」の点をタッチしてください。

3．「＋」の点は左上から半時計回りに左上→左下→右下→右上→中央の順に自動的に移動して行きますから、順番にタッチして行きます。

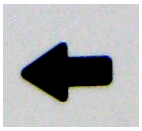
4．中央の「＋」の点をタッチすれば画面のキャリブレーションは終了です。

5．画面のキャリブレーションが終了すると本機は自動的に復帰し、右の写真の画面に戻ります。この状態の画面が表示されている状態で、画面の任意の場所をタッチすればメニュー画面に戻ることが出来ます。

ナビゲーションバー

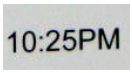
画面の最下段には「ナビゲーションバー」を表示しています。ナビゲーションバーはアイコンが集合したもので、色々な操作が出来るほか、本機の状態表示などにも使われています。

一番左の枠



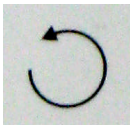
このアイコンをタッチすると 1 つ前の画面に戻ります。タッチを繰り返すと、順次階層を遡って最初の画面まで戻って行きます。
ナビゲーションバーの一番左には左を向いた矢印のアイコンが常時表示されます。このアイコンは形状・機能が変化しません。

左から二番目の枠

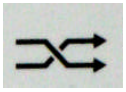


通常はこのアイコンは現在時刻を表示しています。このアイコンをタッチすると時刻や日時を修正する画面に入ることが出来ます。

左から三番目の枠



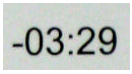
このアイコンをタッチすると、現在聴いているアルバムのリピート再生の設定を行います。初期設定は「オフ(リピート再生しない)」です。一回タッチするたびにオフ→再生中のトラックのリピート再生→アルバム内の全トラックのリピート再生→オフ、と変化します。



このアイコンをタッチすると、シャッフル再生モードを選択する画面に入ります。出荷時の設定ではシャッフル再生を行いません。白いシャッフルのアイコンに「オフ」の文字が添えられています。シャッフルのアイコンにタッチするとアイコンの色がオレンジ色に変わり、アイコンに「オン」の字が添えられます。この状態で画面下段のレ点アイコン(保存)をタッチすると選択した内容を保存・終了します。画面下段の × 印アイコン(取り消し)アイコンをタッチすると、シャッフル再生モードを変更せずに選択画面を終了します。

- ◆ シャッフル再生出来る対象は現在再生中のアルバム内のみに限られます。内蔵ハードディスクドライブに収録された音楽ソース全体からのシャッフル再生はできません。
- ◆ シャッフル再生中はナビゲーションバーのアイコンがオレンジ色になります。
- ◆ リモコンのシャッフルボタンを押しても、ほぼ同じ機能が得られます。

右から三番目の枠



現在演奏中のトラックの残り時間を表示します。表示の仕方は、演奏開始時に総時間数を表示し、演奏が進むに連れて順次残り時間が減少して行く方式です。この表示の仕方を変更することはできません。

右から二番目の枠

この機能は 4HD のみです。

再生音量の表示アイコンです。このアイコンをタッチすると、音量を調整する画面が現れ、再生音量を調整することができます。3HD には音量調整 機能はありません。

一番右の枠

無線 LAN ネットワーク(ワイヤレスネットワーク)に接続されている場合は、このアイコンを表示します。なお、本機をお使いの環境によっては周囲の無線 LAN の電波を検出してしまうことがあります。その場合には無線 LAN に接続していない場合であっても、このアイコンを表示する場合があります。

有線 LAN ネットワークに接続されている場合は、このアイコンを表示します。

無線 LAN・有線 LAN を問わず、ネットワークに全く接続していない場 合は、このアイコンを表示します。
なお、本機をお使いの環境によっては周囲の家屋の無線 LAN の電波を検出してしまうことがあります。その場合には無線 LAN に接続している・いないにかかわらずこのアイコンを表示してしまう場合があります。

リモートコントローラ

本機には赤外線リモコンが付属しています。このリモコンは単 4 電池 2 本で動作します。リモコン用電池は付属していますが、この電池は動作確認用ですので残容量については保証出来ません。本機の保証期間内(お買い上げ後 1 年以内)に動作しなくなった場合であっても、電池消耗が原因の場合は有償修理となり、保証対象とはなりません。

電池はリモコンの底部(裏側)に収納します。この時、電池を入れる向きにご注意ください。電池を交換される場合は単 4 マンガン電池、または単 4 アルカリ電池をお使いください。

ニッケル・カドミウム電池、ニッケル水素電池などの充電式電池は、本機所定の電圧よりも低いために正常に動作いたしません。また、端子電圧が 1.7V を越えるような高圧電池は故障の原因となりますので、ご使用にならないようにご注意ください。

交換される場合は同じ種類の電池を 2 本同時に交換なさってください。

スタンバイ on/off ボタン

このボタンを押すと本機のスタンバイ状態が解除されて、電源が入ります。再度このボタンを押すと電源が入り、スタンバイ状態に戻ります。本機の前面パネル右端にあるスタンバイ on/off ボタン(4)と同じ機能があります。このボタンはリモコンに向かって右最上部にあります。

スリープボタン

このボタンを押すと、本機はスリープタイマーの設定画面に入ります。セッティングメニューの画面より、
設定＞全般的セッティング＞スリープタイマーの設定
とメニュー画面を辿ってもスリープタイマーの設定画面に入ることが出来ます。スリープタイマーの設定画面でリモコンの OK ボタンを押すと、スリープタイマーの ON ／ OFF を切り換えることが出来ます。但し、スリープタイマーが動作開始までの時間設定はリモコンでは出来ませんので、本機本体で操作してください。
このボタンはリモコンに向かって左最上部にあります。

ミュートボタン

この機能は 4HD のみです。

このボタンを押すと､本機はミュート状態になり一時的に再生音が消えます。再度押すとミュート状態が解除されて再生音が出るようになります。
このボタンはリモコン中央最上部にあります。

3HD にはミュート機能はありません。不用意にミュート操作をするとハン　　グアップする場合がありますので、その場合は再起動してください。

リピートボタン

このボタンを押すとリピート再生をします。
このボタンはリモコン左列の上から 2 番目にあります。

シャッフルボタン

このボタンを押すとシャッフル再生をします｡再度押すとシャッフル再生を解除します｡本機本体のナビゲーションバーで操作するとシャッフル再

生の確認をする画面が現れますが、リモコンで操作すると確認画面は表示されません。このボタンを押すたびにシャッフル再生 ON と、シャッフル再生 OFF を繰り返します。出荷時の設定はシャッフル再生 OFF(シャッフル再生しない)です。

シャッフル再生 OFF の状態では、ナビゲーションバーのシャッフルアイコンは白く表示されます。シャッフル再生 ON 状態では、ナビゲーションバーのシャッフルアイコンはオレンジ色に表示されます。

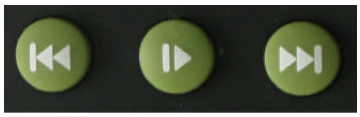
- ◆ シャッフル再生出来る対象は現在再生中のアルバム内に限られます。
- ◆ 本機本体のナビゲーションバーのシャッフルアイコンをタッチしても、ほぼ同じ機能が得られます。
- ◆ このボタンはリモコン中央列の上から 2 番目にあります。

ボリュームボタン

この機能は 4HD のみです。

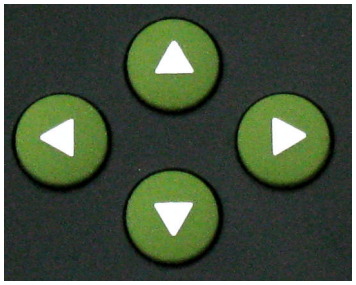
本機の音量を調整するボタンです。
＋ボタンを押すと音量が上昇し、－ボタンを押すと音量が下がります。
このボタンはリモコン右列の上から 2 番目と 3 番目の位置にあります。

3HD には音量調整機能はありません。



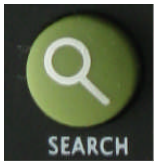
ディスクドライブ操作ボタン

この 3 つのボタンは本機の CD プレーヤー機能を操作するボタンです。このボタンの機能は本機本体のプレーヤー操作ボタン(3)と同じです。このボタンはリモコンの上から 1/3 程度の場所に、3 つ横並びにあります。



ナビゲーションボタン

本機本体のナビゲーションボタン(2)と同じ機能を持つボタンで、リモコン中央やや下にあります。文字入力をする際に、液晶ディスプレイ(1)にスクリーンキーボードが現れていれば、ナビゲーションボタンで選択し、OK ボタンで確定させて文字入力を進めることも出来ます。



サーチボタン

このボタンはリモコン左列の下から 3 番目の位置にあります。プレイリストの中から聴きたい音楽ソースを探す際に使用します。

OK ボタン

このボタンはリモコン中央の列の下から 3 番目の位置にあります。ナビゲーションボタンを使って希望の項目をハイライトさせ、ハイライトされている選択内容を確定する際に押します。上述のナビゲーションボタンと、この OK ボタンを組み合わせてお使いになれば、本機本体のナビゲーションボタン(2)と同等の働きをします。

ADD ボタン

このボタンはリモコン右列の下から 3 番目の位置にあります。現在聴いている曲をプレイリストなどに追加する際に使用します。

RATE ボタン

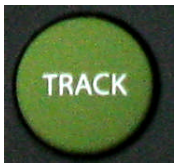
演奏中のトラックの格付け(貴方ご自身のが決める評価点数)を決める画面を呼び出すボタンです。格付けとは、音楽を聴いている貴方ご自身の、音楽に対する評価のことです。本機では星の数でレートが評価され、最高は五つ星です。トラックの演奏中にこのボタンを押すと評価画面が現れます。ナビゲーションボタンの右向きの△ボタンを押すと星の数が増え、左向きの△ボタンを押すと星の数が減ります。

ライブラリボタン

このボタンを押すと、ミュージックライブラリの 6 つのジャンル分けをしている画面に入ることが出来ます。これ以降は、ナビゲーションボタンを使ってライブラリの階層を辿り、ご希望のトラックにたどり着いたら OK ボタンを押せば演奏が始まります。

プレイリストボタン

このボタンを押すと、プレイリストの一覧画面に入ることが出来ます。これ以降は、ナビゲーションボタンを使ってプレイリストの階層を辿り、ご希望のプレイリストにたどり着いたら OK ボタンを押せば演奏が始まります。



トラックボタン

このボタンを演奏中に押すと、液晶ディスプレイ(1)にトラック名を大きく表示します。

ソースボタン

このボタンを押すと本機で再生する音源を指定する、入力切換のためのメニュー画面に入ることが出来ます。次の項のメニュー画面から、ミュージックソースのメニュー画面に入っても同じ機能となります。

ラジオボタン

このボタンを押すと、インターネットラジオを聴く初期画面に入ることが出来ます。ナビゲーションボタンを使って希望の放送局にたどり着いたらOK ボタンを押せば、その放送をお聴きになることができます。

スクリーンキーボードを使う

アルバム名やトラック名、アーティスト名などを検索する画面では液晶ディスプレイ(1)にスクリーンキーボード(キーボードの画面）が表示されます。このスクリーンキーボードから大文字と小文字のアルファベットと数字、記号を入力することが出来ます。本機の本体のみで入力出来るのはスクリーンキーボードに表示のある文字のみです。日本語を表示させるためには、本機とネットワークで接続したコンピュータで、音楽コレクション管理ソフト「マエストロ」を使用してメタデータの編集をする場合のみとなりますのでご了承ください。本機のスクリーンキーボードのキートップの配列は、下の写真でご覧の通り、一般的なQWERTY 配列です。

- キートップをタッチすると、各キートップに記入してある文字が、最上部の入力バーに入力出来ます。上の写真では例として「za/」と入力してあります。このスクリーンキーボードは本体のナビゲーションボタンや、リモコンのナビゲーションボタンなどでも操作することが出来ます。
- 最下段左端の「123」と記入されているキートップをタッチすると、数字用キーボードに画面が変わります。各種の記号類は、数字用キーボードの画面から入力出来ます。
- 最下段左端のキーに「abc」「ABC」などと表示されている場合にこのキーをタッチすると、英語用キーボードに画面が変わります。
- この写真のようにキートップにアルファベットが表示されている状態で、下から 2 列目左端の「↑(上向きの矢印キー)」をタッチすると、キートップの表示が大文字・小文字に変化します。キートップの表示が数字になっている場合は、このキーをタッチしても変化はありません(数字には大文字・小文字の区別がないからです)。
- 最下段左から 2 番目のキートップに何も記載がないキーは、空白(スペース)キーです。
- 最下段右から 2 番目の「SEARCH」と記載されたキーは、最上段の入力バーに入力された文字で検索を実行する、と言う機能を持つキーです。
- 最下段右端の「CANCEL」と記載されたキーをタッチすると、スクリーンキーボードを終了して本の画面に戻ります。いわゆる「破棄・終了」です。」
- 下から 2 列目右端の「←(左向きの矢印キー)」をタッチすると、最上段の入力バーに入力された文字を右側から順に消去して行きます。

操作画面の表示を切り換える

この機能は 4HD のみです。

本機の操作画面は前面パネルの液晶ディスプレイ(1)に表示されます。切り換え操作により、後面パネルの HDMI 出力端子(14)を経由して、テレビ、プロジェクターなどの外部の映像装置に表示することも可能です。

操作画面を切り換えるには、本機前面パネルにあるナビゲーションボタン(2)の内の、左・右の△ボタンを同時に押します**(左の写真で○で囲ったボタンです)**。

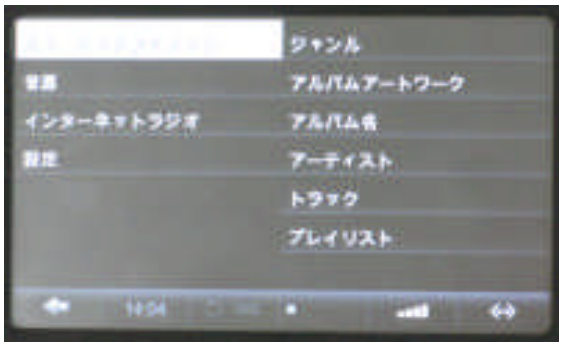
- 出荷時の設定では、前面パネルの液晶ディスプレイ(1)に操作画面を表示します。この時、後面パネルの HDMI 出力端子(14)には信号は出力されません。
- 本機前面パネルにあるナビゲーションボタン(2)の内の、左・右の△ボタンを同時に押すと HDMI 出力端子(14)からのみ、操作画面の信号が出力されるようになります。この時、前面パネルの液晶ディスプレイ(1)には、操作画面は表示されません。
- 再度ナビゲーションボタン(2)の内の、左・右の△ボタンを同時に押すと前面パネルの液晶ディスプレイ(1)にのみに操作画面を表示するように戻り、以後、この動作を繰り返します。

- **本機前面液晶パネルと、HDMI ケーブルで接続した外部の映像機器に、同時に操作画面を表示させることはできません。**
- **外部の映像機器に操作画面を表示させている場合は、タッチパネル機能は使えません。**
- **3HD には HDMI 端子がありませんから、本操作とは無関係です。**

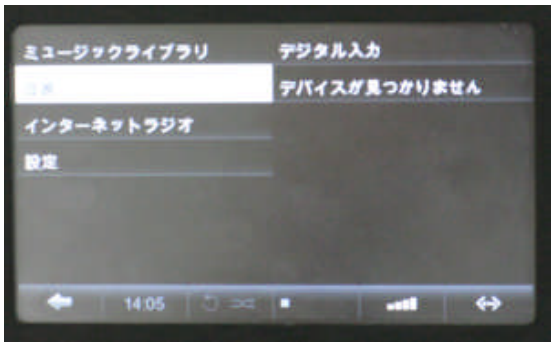
メニュー画面に入る

本機は電源を入れると、オリーブ社のロゴ、日付・時刻などを表示した画面が自動的に現れます。この状態で画面の任意の場所をタッチすると、自動的に左下(上)のメニュー画面を表示します。画面の左側がメニューのタイトルで、本機には「ミュージック・ライブラリ」「ミュージック・ソース」「インターネットラジオ」「セッティング」のメニュータイトルがあります。

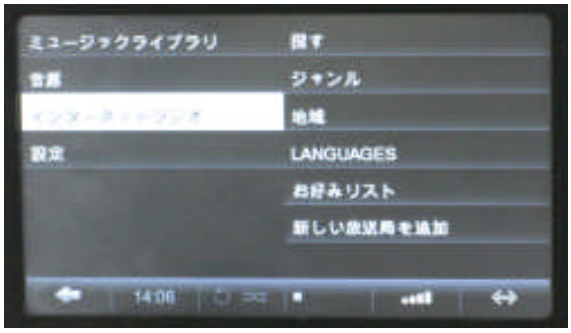
「ミュージックライブラリ」のメニュー



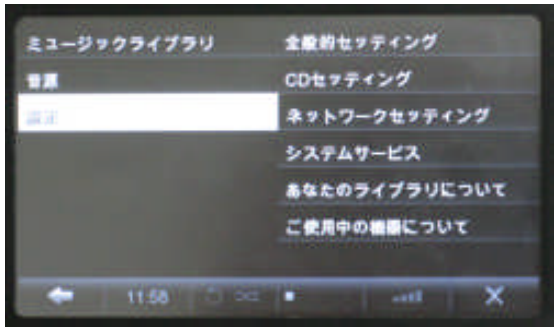
「音源(ミュージックソース)」のメニュー



「インターネットラジオ」のメニュー



「設定(セッティング)」のメニュー



- **「インターネットラジオ」のメニューが表示されるのは、本機がインターネットに接続出来る環境にある場合のみです。**
- **インターネットに接続出来る環境がない場合や、ネットワークへの接続するためのセッティングが済んでいない状態では「インターネットラジオ」のメニューは表示されません。**
- **CD がディスクドライブ(5)に挿入されていると、「ミュージックライブラリ」の上に「CD 挿入済み」の文字を表示します。**

ミュージックライブラリ

「ミュージック・ライブラリ」の中には、次のようなメニュー項目があります。ミュージックライブラリとは、CD やコンピュータからのコピーなどの作業を通じて本機の内蔵ハードディスクドライブに収録された音楽ソースのことです。本機は膨大な曲数を収録できますから、各メニュー項目を活用して、素早く選曲出来るようにしてあります。

ジャンル

プリセットされている各ジャンルの中から、お聴きになりたい音楽ソースを選択します。各ジャンルごとに、アルバム名のアルファベット順に整列させてあります。

本機でのジャンル分けは下記の 6 種類(6 区分)となっています。

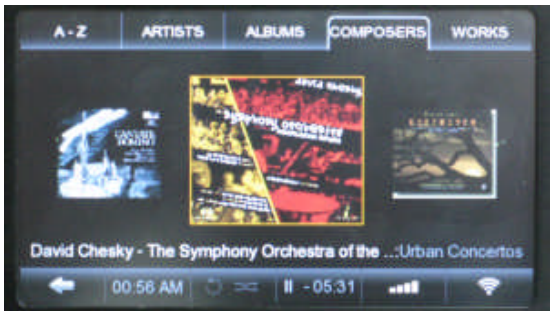
クラシック(CLASSICAL)	ジャズ(JAZZ)
ブルース(BLUES)	ロックとポップス(ROCK/POP)
おしゃべり・話芸(SPOKEN WORD)	その他(OTHER)

それぞれのジャンルは、更に幾つかのサブジャンルに別れています。

アルバムアートワーク

アルバムアートワーク(いわゆるジャケット写真)が整列させてあります。このメニューを選ぶと下記のように分類されています。

1. アーティスト名で並べ替え
2. アルバム名で並べ替え
3. 作曲家名で並べ替え
4. 作品名で並べ替え



この中のいずれかを選ぶと、次のような画面が表示されます。画面の上部には「A-Z」「 ARTIST」「 ALBUM」「 COMPOSER」「WORKS」と表示されています。「A-Z」をタッチするとスクリーンキーボードの画面が開き、アルバム名を自分で入力して部分一致検索をする画面となります。それ以外の「ARTIST」「ALBUM」などは、それぞれ、「アーティスト名の数字順・アルファベット順で並べ替え」「アルバム名の数字順・アルファベット順で並べ替え」と言う意味です。

音源

「音源」とは本機で再生する音源を指定する、入力切換のためのメニューです。本機の CD ディスクドライブや、内蔵ハードディスクドライブは既に入力デバイスとして認識されていますから、この画面には表示されません。このメニューでは画面右側に切り換え候補とも言うべきミュージックソースが表示されますが、切り換えが出来ない状態になっているものや、本機と同一のネットワーク上に接続していないものなどは候補として表示されません。接続してある機器類に拘わらず入力切り換え候補として表示されるのは「デジタル入力」のみです。

DIGITAL IN

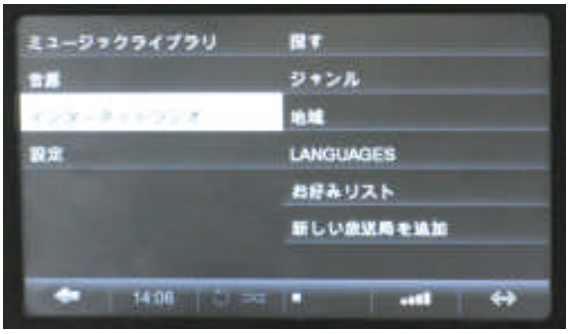
この機能は 4HD のみです。

本機裏面パネルのデジタル入力端子(9)に入力された外部機器のデジタル信号を再生します。
この項目はどのような場合であっても必ず表示されます。

「デジタル入力」をタッチして入力を切り換えようとすると左の画面のような確認画面が表示されます。入力を切り換えて宜しければ左側の「OK」のアイコンをタッチします。入力を切り換えることを取り止める場合は右側の「取り消し」のアイコンをタッチします。

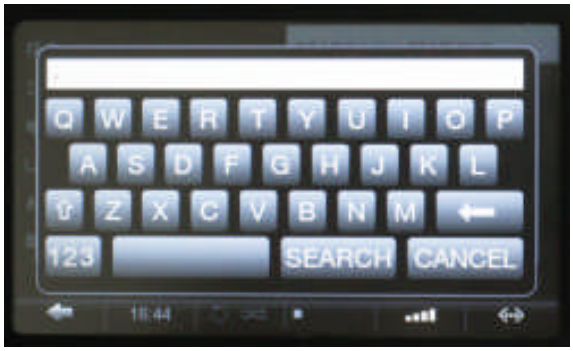
インターネットラジオを聴く

ネットワークに接続していれば、本機はインターネットラジオを受信することが可能です。インターネットラジオの項目の中には、次のようなメニューがあり、それぞれのメニュー名をタッチすれば各メニューが開きます。



探す

放送局の名前を手掛かりとして探すメニューです。このメニューをタッチすると「SEARCH ALL STATION」のサブメニューが現れます。



更にこのサブメニューをタッチすると、スクリーンキーボード画面が現れますので、希望の名前を入力して「SEARCH キー」をタッチします。「SEARCH キー」は画面下段・右から 2 番目のキーです。

例えば、、、

- 「JAZZ」と入力して「SEARCH キー」をタッチすると、放送局名の中に「JAZZ」と言う文字を含む放送局の一覧が数字順・ABC 順に現れます。
- このメニューは単純な部分一致検索ですから、放送局に「JAZZ」と言う文字を含んでいれば、JAZZ に無関係の放送局もヒットします。
- 同様に、JAZZ に関連する放送局であっても、局名に「JAZZ」と言う文字を含んでいなければヒットしません。

ジャンル

音楽のジャンルによって放送局が分類されていますので、お聴きになりたい曲目のジャンルの中から放送局を選択する手掛かりとします。「BLUES(ブルース)」「CLASSICAL(クラシック)」「JAZZ(ジャズ)」「OTHERS(その他)」「PUBLIC, NEWS & SPORTS(公共機関、ニュース、スポーツ)」「ROCK/POP(ロック・ポップス)」などと言うように分類されています。

各ジャンルは更に「ALL STATION(各ジャンルごとの全部の放送局の一覧)」「GENRES(小

ジャンル別)」「REGIOSN(地域別)」のサブメニューに別れています。

地域

ラジオ局の所在地により分類されていますので、お聴きになりたい放送局を探す際の手掛かりとします。国別・地域別に分類されており、アルファベット順に整列しています。日本の放送局は「JAPAN」として独立した分類としてあります。

LANGUAGES(言語)

ラジオ局の使用言語により分類されていますので、お聴きになりたい放送局を探す際の手掛かりとします。英語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語などのように、一つの言語が複数の国や地域で使われている場合は、同じ言語の放送局が複数の国・地域に別れて存在します。日本語の放送局は「JAPANESE」として分類されています。

お好みリスト

事前に好みの放送局として登録してあるラジオ局を呼び出します。また、ラジオ放送をお聴きの間に SELECT ボタン(ナビゲーションボタン中央の〇ボタン)を押して、スクリーンキーボードの「SAVE」を押せば、現在聴いているラジオ放送がお好みの放送局リストに追加されます。

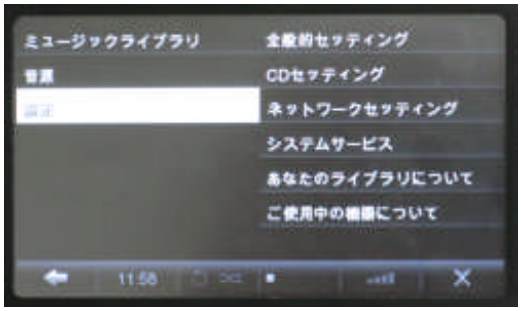
新しい放送局を追加

新しく、お好きな放送局を登録する際にこのメニューをタッチします。一旦登録してあれば「お好みリスト」をタッチして呼び出すことができます。

1. このメニューをタッチすると、液晶ディスプレイに右のようなキーボードの画面が現れますので、登録したい放送局の URL を入力します。
2. 入力し終わったら「SAVE」を押せば登録されます。「SAVE キー」は画面下段右から 2 番目にあります。

設定

「設定」の中には本機の色々な設定を操作するメニューが用意されています。本機は事前に設定をしなくても操作することは可能ですが、より、お好みの状態に近い形で音楽をお楽しみいただくことが出来ます。



◆本体が設定の変更を受け入れるまでの間に多少のタイムラグが生じます。設定の変更を行った際には、変更が行われたことを確認するメッセージの表示が消えるまでお待ちになってから、次の動作にお進みください。

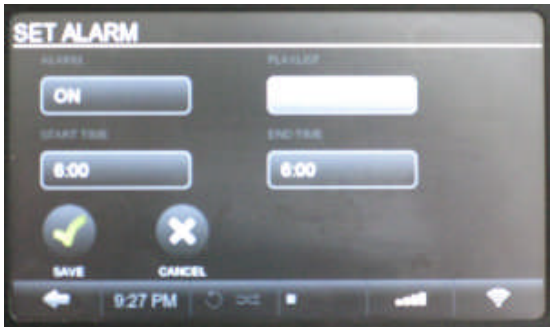
全般的セッティング

本機の全般的な設定をします。この項目では次のような項目を設定出来ます。

日時の設定

本機の内蔵時計の日付、時刻の設定をします。この項目をタッチすると日付を設定する項目、時刻を設定する項目が表示されます。更に各項目をタッチするとテンキー画面が現れますので必要に応じ入力して「保存(SAVE)」アイコンをタッチします。日付、時刻を変更しないで終わる場合は「取り消し(CANCEL)」アイコンをタッチします。

アラーム設定



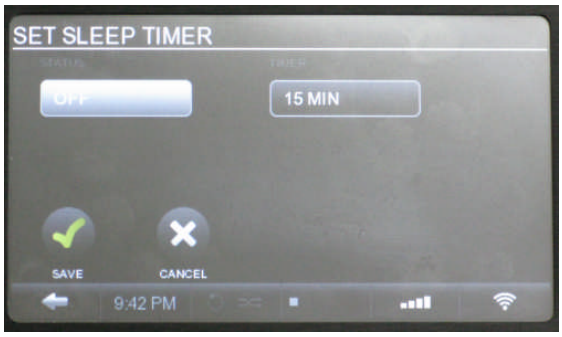
目覚ましタイマーの設定をします。画面左上がアラームの設定のオン／オフ設定パネルです。オンにするとアラーム機能が動作します。画面右上は、アラームに使用するプレイリストを選択する画面です。プレイリストに登録してある音楽をアラーム用に使用することが出来ます。

画面中断はアラームの開始時刻・終了時時刻の設定パネルです。このパネルをタッチすると

テンキー画面が現れますので、開始時刻・終了時刻を設定することができます。時刻設定は24 時間制で、12 時間制に変更することはできません。

画面最下段は左がレ点アイコン(保存)です。新しく設定を変更して、保存・終了する場合はこのアイコンをタッチします。右は×印アイコン(取り消し)で、変更した内容を破棄・終了する場合はこのアイコンをタッチします。

スリープタイマーの設定



いわゆるお休みタイマーで、今から何分後に演奏を終了するかを設定します。画面左側のパネルがタイマーのオン／オフの設定パネルです。タッチするごとにオン・オフを繰り返します。

画面右側のパネルが終了するまでの時間を設定するパネルです。このパネルをタッチするとテンキーの画面が開きますので、1 分単位で設定することが出来ます。

画面最下段は左がレ点アイコン(保存)で、新しく設定を変更して、保存・終了する場合はこのアイコンをタッチします。右は×印アイコン(取り消し)で、変更した内容を破棄・終了する場合はこのアイコンをタッチします。この、スリープタイマーの設定画面へは、リモコン左上部のスリープボタンを押しても入ることが出来ます。

言語の設定

本機の各種メニュー画面を表示させる言語を選択します。この項目をタッチすると現在表示使用している言語名が表示されます。表示されている言語を変更するには、言語名右側の∧∨の矢印をタッチして表示される言語のなかから希望の言語を選びます。本機は、出荷時には日本語を表示言語としてあります。

- **本機で、この「言語の設定(SET LANGUAGE)」の項目を操作する以外に表示言語の変更はできません。**
- **一旦表示言語を変更した場合は、それ以降は当該言語環境の中でしか操作することが出来なくなります。**

パワーセーブ

節電の為に、一定時間操作をしないと自動的にパワーセーブ状態(スタンバイ状態)に移行す

るように設定を行います。「パワーセーブ」のオン／オフと、自動的にパワーセーブ状態(スタンバイ状態)になるまでの時間を設定するパネルがあり、更に、「保存(SAVE)」と「取り消し(CANCEL)」アイコンがありますから、保存・終了か、破棄・終了かを選ぶことが出来ます。

◆ パワーセーブ状態になると、操作画面は消灯します。スタンバイ on ／ off ボタン(4)をタッチするなどの操作をすれば自動的に復帰します。
◆ パワーセーブ状態になるまでの時間は 1 分から 99 分の範囲で設定できます。

ディスプレイの切り換え
この機能は 4HD のみです。
本機の前面パネルの液晶ディスプレイ(1)に表示している操作画面の内容を、そのまま液晶ディスプレイに表示するのか、或いは後面パネルの HDMI 端子(14)を通して外部テレビなどに表示するのか、の選択をします。この項目をタッチすると確認画面が表示されますので、更に続いて「OK」アイコンをタッチすると液晶ディスプレイに表示されていた画像は HDMI 端子経由で外部テレビにのみ表示されるようになります。これ以降、液晶ディスプレイには何も表示されません。

再度液晶ディスプレイで表示するように戻すには本機前面パネルのナビゲーションボタン(2)の内の、“＜“と“＞“の 2 つのボタンを同時に押します。

◆ **前面パネルの液晶ディスプレイ(1)と、後面パネルの HDMI 出力端子経由で接続している外部映像機器に、同時に操作画面を表示することはできません。**
◆ **3HD には HDMI 端子がないので、本操作とは無関係です。**

CD セッティング

CD の音楽信号を内蔵ハードディスクドライブにコピーする際のクオリティと、本機の内蔵ハードディスクドライブに収録された音楽信号を CD などに書き出す際の設定します。

音楽ソフトを CD などのディスクに書き出す場合は、音楽用 CD-R、CD-RW をお使いください。

CD インポートクオリティ
CD の音楽信号を内蔵ハードディスクドライブにコピーする際のクオリティを設定します。本機では、下記のクオリティのフォーマットを選択することが出来ます。なお、表示した曲数は一般的な演奏時間を勘案しての概算です。演奏時間の長い曲、短い曲に関しては必ずし

もこの通りとはなりません。なお、3HD の内蔵ハードディスクドライブは 4HD の 1/4 の容量ですが、ファームウェアで使用している容量部分がありますので、収録可能な曲数は 1/4 よりも少ない曲数となっております。

フォーマット	クオリティ	収録曲数(4HD)	収録曲数(3HD)
WAV 型式(非圧縮)	1411kbit/s	32760 曲	8000 曲
FLAC 型式(圧縮)	800kbit/s	57780 曲	14000 曲
MP3 型式(320bit/s)	320kbit/s	144500 曲	36000 曲
MP3 型式(128kbit/s)	128kbit/s	361180 曲	90000 曲
AAC 型式(128kbit/s)	128kbit/s	361180 曲	90000 曲

CD へ書き出し

内蔵ハードディスクドライブに収録された音楽を、CD-R や CD-RW に焼く際のクオリティの設定を行います。このメニューを開くと下記の画面が現れますので、「∧」「∨」をタッチして希望のクオリティを選びます。

オーディオ CD(曲間ギャップ無し)
オーディオ CD(曲間ギャップ 2 秒間に設定)
MP3 型式

一般に、CD-R や CD-RW などのディスクに書き出し、書き込みをすることを「CD に焼く」「CD を焼く」と表現します。

ネットワークセッティング

有線 LAN・無線 LAN での設定を行います。なお、3HD には無線 LAN 関連の機能はありません。ネットワークへ接続する際には、有線 LAN での接続のみとなります。一般に無線 LAN よりも有線 LAN の方が接続が安定しており通信速度も速いので、4HD をお使いの場合もなるべく有線 LAN をお使いになりますようお勧めいたします。

OLIVE 4HD・3HD の名称を変更

ネットワーク上で表示される本機の名前を変更します。タッチするとスクリーンキーボードが開きますから希望の名前を入力します。「SAVE」をタッチすると保存終了、「CANCEL」をタッチすると破棄・終了となります。同一ネットワーク上に複数の、同一のオリーブ製機器を同時に接続する場合を除き、名称は極力変更せずにお使いになることをお勧めします。

ネットワーク設定

ネットワークへの接続設定を行います。接続に使うのは有線 LAN か、無線 LAN か、自動設定にして接続するのか、手動設定にして接続するのかを選びます。

画面左上は有線 LAN・無線 LAN の切り換え設定を表示しています。このアイコンを押すたびに有線 LAN →無線 LAN →有線 LAN →無線 LAN、と変更できます。但し、どのように変更した場合であっても有線 LAN が使える環境がなければ有線 LAN は使用できません。同様に、無線 LAN 仕様と変更しても、無線 LAN 環境がなければ無線 LAN は使用できません。

画面右上は IP アドレスの割り当てを自動取得するか、手動取得するかの設定をします。通常は「自動取得」で使用されるようお勧めします。

3 HD は有線 LAN 接続のみが可能、無線 LAN は使用できません。

ネットワーク情報

ネットワークの接続情報、などを表示します。表示するのは次の項目です。

◆ 有線 LAN で接続しているか、無線 LAN で接続しているか、

◆ インターネットに接続しているか、
◆ 本機の IP アドレスはどうなっているか、

IP アドレスを調べるには

前述の「ネットワーク情報」を応用して、液晶ディスプレイ(1)のタッチスクリーンで、次のようにメニュー階層を辿って行けば、本機の IP アドレスを調べることが出来ます。

設定＞ネットワークセッティング＞ネットワーク情報

IP アドレスは XXX.XXX.XXX.XXX と言うように表示されます。xxx の部分は最大で 3 桁の数字で、4 群の数字の間はピリオドで区切られています。LAN 機器を設定する際に IP アドレスの入力が必要になる場合があります。

システムサービス

本機の内蔵ファームウェアのアップデートや、内蔵データベースのアップデート、内蔵ハードディスクドライブのバックアップやレストアなどを行います。この項目には下記のメニューが用意されています。

ランニングサービス
ランニング・サービスは現在準備中に付き暫くお待ちください。

バックアップ
内蔵ハードディスクドライブの内容を外付け USB 接続のハードディスクドライブにバックアップします。

レストア
外付け USB 接続のハードディスクドライブにバックアップした内容を、内蔵ハードディスクドライブに書き戻します。

ファームウェアアップデート
本機のファームウェアをアップデート(更新)します。

画面のキャリブレーション
本機の液晶ディスプレイ(1)はタッチスクリーン式となっていますので、較正(こうせい)を行

います。本機の液晶ディスプレイ(1)はタッチパネルとしてお使いいただくことができるように、非常に繊細・精密な部品を使っていますので、必要に応じキャリブレーション(較正)をしていただく必要があります。本機を初めてご使用になる場合は、一旦、「画面のキャリブレーション」を行っていただきますようおすすめいたします。また、ご使用状況によっては希に液晶ディスプレイ(1)のタッチパネルをタッチしても本機が反応しなくなる場合がありますが、そのような場合でも「画面のキャリブレーション」を行っていただくと解消する場合がありますのでご記憶ください。「画面のキャリブレーション」に関しては「電源を入れる・電源を切る」の項目の次の項目にて説明しておりますのでご参照ください。

出荷時の設定
全ての設定を出荷時の設定に戻します。出荷時設定に戻した場合であっても、内蔵ハードディスクドライブに収録された音楽データは保護されます(消去されることはありません)。

ログインエラー
本機に不具合が生じた場合、エラーログを取得します。エラーログは、通常は取得する必要はありませんが、原因不明のトラブルに遭遇した際にオリーブ社に問い合わせる場合に役立つことがあります。

あなたのライブラリについて

本機の内蔵ハードディスクドライブに収録なさった音楽ソースのトラック数、アルバム数、アーティスト数、作曲家数、サブジャンル数などを表示します。

ご使用中の機器について

現在ご使用中のオリーブ 3HD・4HD の各種の情報を表示します。表示するのは次の内容です。

ネットワーク名
ネットワーク上で識別するために本機に付けられた名称です。初期設定では「OPUSLIBRARY」となっていますので、通常はこのままお使いください。同一の家庭内 LAN などの中に別のオリーブ社製機器を同時に接続される場合は、必要に応じ名称を変更してお使いください。

MAC
MAC アドレスのことです。MAC アドレスとは、ネットワークに接続するための識別番号で、

12 桁の 16 進数で表示されます。

シリアル番号
本機のシリアル番号を表示します。
内蔵 HDD の総容量
内蔵ハードディスクドライブの内の、使用可能な領域の総容量を表示します。この数値には、本機のファームウェアを収録した領域は含んでおりません。従って、本機の内蔵ハードディスクドライブの総容量は 2TB(4HD の場合)、または 500GB(3HD の場合)ですが、此処で表示する数字は必ず 2TB、500GB よりも少ない数字となっています。

内蔵 HDD の収録済容量
内蔵ハードディスクドライブに収録した音楽の総容量を表示します。

ファームウエア VER
ご使用中の機器のファームウェアのバージョンを表示します。ファームウェアはインターネットなどを経由してご自分でバージョンアップすることが出来ます。この表示が 4.1.3.以上になっていれば、本機はメニュー画面に日本語を表示することが出来ます。ファームウェアは 4HD も 3HD も共通のものを使用しております。

CD データベース VER
ご使用中の機器の CD データベースのバージョンを表示します。CD データベースは 4HD も 3HD も共通のものを使用しております。

表示言語を変更する

本機の各種メニュー画面を表示させる言語を変更することが出来ます。設定＞全般的セッティング＞言語の設定とメニュー階層を辿り、言語を選択します。

この項目で現在表示使用している言語を表示させると、下記の一覧の言語名が英語で表示されます。表示されている言語を変更するには、言語名右側の∧∨の矢印をタッチして表示される言語のなかから希望の言語を選びます。

本機は、出荷時には日本語を表示言語としてあります。4.1.2.以前のファームウェアがインストールされた出荷された品物は、出荷時は英語を表示言語としてあります。

JAPANESE(日本語)
FINNISH(フィンランド語)
KOREAN(韓国語)
ENGLISH(英語)
GERMAN(ドイツ語)
FRENCH(フランス語)
SPANISH(スペイン語)
PORTUGUESE(ポルトガル語)
DANISH(デンマーク語)
SWEDISH(スウェーデン語)
GREEK(ギリシャ語)
ITALIAN(イタリア語)
RUSSIAN(ロシア語)
HUNGARIAN(ハンガリー語)
CHINESE SINMPLIFIED(簡体字中国語・中華人民共和国等)
CHINESE TRADITIONAL(繁体字中国語・中華民国等)

- **本機で、表示言語を変更するには、本項目で説明したこの「言語の設定」の項目を操作する以外の方法はありません。**
- **一旦、表示言語を変更した以降は当該言語環境の中でしか操作することが出来なくなりますのでご注意ください。**

メニュー画面から各言語への設定例

英語での設定	SETTINGS ＞ GENERAL SETTINGS ＞ SET LANGUAGE
仏語での設定	PARAMETRAGES ＞ REGLAGES GENERAUX ＞ LANGUE
独語での設定	EINSTELLUNGEN ＞ ALLG.EINSTELLUNGEN ＞ SPRACHEINSTELLUNG
西語での設定	AJUSTES ＞ AJUSTES GENERALS ＞ AJUSTAR IDIOMA
日本語での設定	設定＞全般的セッティング＞言語の設定

液晶ディスプレイ(1)に表示する音楽のメタデータ(曲名、作曲者名、演奏者名など)の内容は、本機の言語設定にかかわらず、CD データベースに収録されているデータに従います。CD データベースに収録されているデータの文字が日本語であれば、本機の言語設定が英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語などであっても日本語のデータを表示します。

ご注意

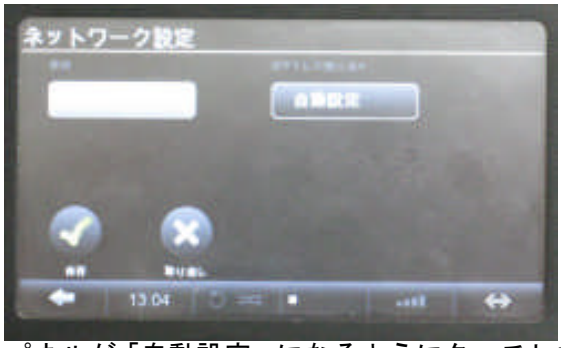
=.=.1.以前のファームウェアがインストールされた品物のファームウェアを 4.1.3 にアップデートされた場合も、アップデート作業の時点で表示していた言語のままでアップデートが行われます。例えば、ファームウェアのバージョンが 4.1.2.で英語表示していた品物は、アップデート後にも表示言語は英語のままとなっています。

4.1.3.以降のファームウェアがインストールされていれば、本機のメニュー画面の表示言語を日本語、韓国語、フィンランド語などにすることが可能ですが、この場合は上述の手順により表示言語を変更していただくことが必要です。

ネットワークに接続する

本機は無線 LAN・有線 LAN ネットワークに接続することができます。3HD をご使用の場合は有線 LAN にのみ接続することが出来ます。「メニュー画面に入る」の項目を参考にして、設定＞ネットワークセッティング＞ネットワーク設定と進みます。また、ナビゲーションバー右端の無線 LAN・有線 LAN 関連のアイコンをタッチすると、LAN 設定ウィザードが開始されます。ウィザードが始まると本機は接続方法を問い合わせてきますので、ここでは「自動設定」を選択します。

1. 無線 LAN と有線 LAN の環境が両方存在する場合は、接続状態の良い方のネットワークを選択します。一般に有線 LAN は無線 LAN に比べて転送速度が圧倒的に速いので、通常は有線 LAN を選択します。
2. ネットワークが暗号化されたり、セキュリティ設定がされていない場合は、自動的に接続します。
3. ネットワークに暗号化やセキュリティの設定がされている場合は、本機を接続できるように設定する必要があります。設定方法はルーターやハブなどにより異なりますので、それらの機器の取扱説明書をご覧ください。

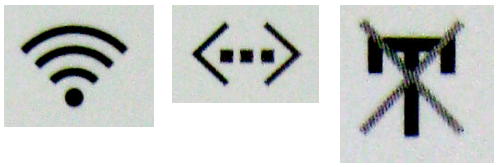


接続に成功すると、左のような画面が現れます。本機は無線 LAN も使用可能ですが、一般に有線 LAN の方が転送速度が速いことが多いので、可能な限り有線 LAN をご使用になることをお勧めいたします。

うまく続出来なかった場合は右上の長方形のパネルが「自動設定」になるようにタッチします。このパネルはタッチするたびに自動設定→手動設定→自動設定、と繰り返します。最後に左下のレ点のアイコン(保存）をタッチして設定を終了します。

設定が終われば左のような画面が表示されますので、確認して「閉じる」のレ点アイコンをタッチして設定画面を全て閉じます。

ネットワークに接続出来ると、ナビゲーションバーの右端に下記の 2 種類のアイコンのいずれかを表示します。左のアイコンは無線 LAN ネットワークに接続出来た場合の表示、中央のアイコンは有線 LAN ネットワークに接続出来た場合の表示です。右のアイコンはネットワークに接続していない場合の表示です。



- 接続なさったネットワークが**インターネットに接続されている場合、アイコンは白く**表示されます。
- 接続なさったネットワークが**インターネットに接続されていない場合、アイコンはオレンジ色**に表示されます。

無線 LAN をご使用になる場合、ルーターと本機との距離は 6m 以内としてください。これ以上離れると接続が不安定になったり、接続出来ない場合があります。また、6m 以内であっても壁、扉、窓ガラスなどがあると接続可能な距離が著しく短くなる場合がありますのでご注意ください。

無線 LAN はデータの転送量などの制約を受けることが多い為、場合によっては音飛び、音途切れなどの転送ミスが生じる可能性があります。一般に有線 LAN の方が転送速度は圧倒的に速いので、通常は有線 LAN をお使いください。
無線 LAN が使用できるのは 4HD のみです。有線 LAN は 3HD も 4HD も、どちらもご利用いただくことができます。

CD を再生する

お聴きになりたい CD をディスクドライブ(5)に挿入すると、CD の情報を読み込み、本機の内蔵データベースを参照して解析し、ディスプレイ(1)に CD の内容を表示します。この間、全て自動的に表示しますが、表示するまでに若干時間が掛かりますので暫くお待ちください。

- ◆ 左端の「CD を再生」と言うアイコンをタッチすると演奏が始まります。本機前面パネル 3(B)のボタンを押しても演奏を開始します。
- ◆ 左から 2 番目の「トラック」と言うボタンをタッチするとトラック名の一覧を画面に表示します。表示されているトラック名をタッチすると、当該のトラックの演奏を開始することができます。
- ◆ 右から２番目の「CD をコピー」と言うアイコンをタッチするとリッピングを開始します。
- ◆ 右端の「EJECT」と言うアイコンをタッチすると、挿入した CD を排出します。

アーティスト名、アルバム名が本機の内蔵データベースに見つからない場合、インターネットに接続されていれば自動的に所定のデータベース・サーバーも検索し、それでもアルバム名などが見つからない場合は「この CD の情報がありません」と表示しますが、正常に演奏することはできます。トラック名の一覧を表示させると「トラック 01」「トラック 02」のように表示します。

演奏中の画面です。上からアーティスト名、アルバム名、トラック名を表示しています。下段のトラック名は演奏が進むのに応じて、順次表示が変わって行きます(演奏中のトラック名を順次表示して行きます)。この画面では「カーペンターズ」の「ア・ソング・フォー・ユー」と言うアルバムの中の「ア・ソング・フォー・ユー」と言う曲目を再生中です。

CD からインポートする

CD に収録された音楽ソースを本機の内蔵ハードディスクドライブにインポートするためには、はじめにインポートする際のクオリィティ決定します。メニュー階層を、設定＞ CD セッティング＞ CD インポートクオリティと辿って設定してください。

左のような画面が現れますので､画面右側の∧∨のアイコンをタッチするとクオリティを選択することができます｡希望のクオリティを決めたら画面左端のレ点アイコン(保存)をタッチします。

「CD インポートクオリティを設定」の文字が画面に表示されれば、希望のクオリティに設定は保存・終了されています。これ以降、何らかの変更を加えない限りは、ここで選んだクオリティでインポートします。インポートする際のクオリティが一定のままで宜しければ、この作業は最初に一度済ませるだけで、それ以降は操作する必要はありません。

インポートする際のクオリティは以下のフォーマットの中から選ぶことが出来ます｡下記の表示曲数は 4HD の場合を示しています。3HD の場合は下記の曲数に 1/4 を乗した曲数よりも若干少ない曲数となります。

フォーマット	クオリティ	収録出来る曲数
WAV 型式	1411kbit/s	32760 曲
FLAC 型式	800kbit/s	57780 曲
MP3 型式(320kbit/s)	320kbit/s	144,500 曲
ACC 型式(128kbit/s)	128kbit/s	361,180 曲
MP3 型式(128kbit/s)	128kbit/s	361,180 曲

WAV 型式は非圧縮、それ以外は圧縮します。「収録出来る曲数」は本機の内蔵ハードディスクドライブに収録できる曲数の概算です｡曲目の長さによっては大幅に変動することがあります。最後に、ディスクドライブ(5)に CD を挿入し、「CD をコピー」を選択してください。

CD からコピーする作業には概ね 5 分から 20 分程度掛かります。所要時間はコピーする際のクオリティや CD の演奏時間などにより異なります。

CD をディスクドライブに挿入して暫く経ち、左のような画面が現れましたら、右から 2 番目の「CD をコピー」のアイコンをタッチします。または、本体前面パネルのナビゲーションボタン(2)を操作して「CD をコピー」のアイコンをハイライトさせます。

続いて、本機前面パネルにあるナビゲーションボタン(2)の中央にある〇の決定ボタンを押すと CD のインポート(リッピング)を開始します。インポート中(リッピング中)は進捗率を数字で表示し、100%になるとインポート(リッピング)を終了します。この後本機は最終処理をしますので、暫くお待ちください。

最後に「CD からのインポートが完了しました」「＊＊トラック状態良好」の文字を表示すれば作業は完了ですから、画面中央下の「閉じる」のアイコンをタッチすれば作業は完了です。なお、CD をインポートする際のアーティスト名、アルバム名、トラック名などは、内蔵 CD データベースを参照して自動的に決定されます。本機自体ではアーティスト名、アルバム名、トラック名を変更することはできません。「マエストロ」での操作が必要です。

CD をインポート(リッピング）している際に、iPod や本機に付属のリモコンなどで何らかの操作をすると、本機が一切の操作を受け付けなくなる(ハングアップする)、インポート(リッピング）に失敗して異常終了する、などの症状が発生することがあります。リッピング中に、本機に対して何らかの操作をすることはお止めください。

PC からインポートする

コンピュータを有線 LAN などのネットワークに接続し、音楽ソースをコンピュータから本機にインポートします。本機は無線 LAN への接続も可能ですが、一般に有線 LAN の方が転送速度が圧倒的に速いので、極力有線 LAN で接続なさることをお勧めします。

本機で取り扱う事ができるファイル型式は、WAV、FLAC、AAC、MP3 型式です。コンピュータの機種や仕様にかかわらず、WMA 型式など、これら以外のファイル型式は取り扱う事ができません。

ウィンドウズのコンピュータの場合

1. 最初にメニュー階層を下記のように辿り、設定を行います。
   設定＞ネットワーク設定＞ネットワーク情報
2. 画面上側中央付近に表示されている、IP アドレスが表示されますので、これを控えておきます。
3.
   次に IP アドレスを入力する画面を立ち上げる為に、ポップアップスクリーンへのアクセスの為に、キーボードより「ウィンドウズキー」と「R キー」を同時に押して、「ファイル名を指定して実行」の画面を立ち上げます。または、スタートメニューより「スタート＞ファイル名を指定して実行」、と階層を辿ります。通常の日本語キーボードでは、「ウィンドウズキー」と「R キー」は、上の写真の矢印の左側にあります。
4.

   (2)の手順で控えておいた IP アドレスを、左図のように半角で入力します。「＼＼」の部分はバックスラッシュ(逆斜線)です。日本語キーボードをお使いの場合はバックスラッシュの入力が出来ませんので「¥(半角の円マーク)」を入力して代用出来ます。この場合、上記の枠内に入力する内容は「¥¥xx.x.x.xx」と代用できます。
5. システムが有効になるとお使いのネットワーク環境の中に「IMPORT FOLDER」が出来ます。オリーブ製品ではウィンドウズ・ファイルサーバーとしてインポートフォルダがデフォルト設定(初期設定）となります。
6. 各々の独立ファイル、或いは全てのファイルを IMPORT FOLDER にドラッグ・ドロップしてください。これらのファイルは自動的に本機のシステムにタグ(tagged)され、管理され、ファイルされます。

MAC コンピュータの場合

1. 最初にメニュー階層を下記のように辿り、設定を行います。
   設定＞ネットワーク設定＞ネットワーク情報
2. 画面上側中央付近に表示されている、IP アドレスを控えておき、キーボードより FINDER WINDOW（ファインダー・ウィンドウ）を開いてください。これは「スポットライト・サーチ」ではありません。
3. 次にナビゲーションバーにある FILE、EDIT、VIEW などの GO オプションをクリックして、GO ＞ CONNECT TO SERVER と階層を辿ります。ください。
4. 次に半角で smb://xx.x.x.xx とタイプしてください。なお、xx.x.x.xx の部分は(2)の IP アドレスと同じモノを入力します。
5. リストアップされた本機の IP アドレスを選択し、システムが有効になるとネットワーク上に IMPORT FOLDER が出来ます。オリーブ製品ではウィンドウズ・ファイルサーバーとしてインポートフォルダがデフォルト設定(初期設定）となります。
6. 各々の独立ファイル、或いは全てのファイルを IMPORT FOLDER にドラッグ・ドロップしてください。これらのファイルは自動的に本機のシステムにタグ(tagged)され、管理され、ファイルされます。

内蔵ハードディスクドライブが破損してお客様が収録した音楽ソフトを取り出したり、聴いたりすることが出来なくなった場合の損失に関しては、保証期間内・保証期間外にかかわらず、株式会社ノア、及び、本機の製造元であるオリーブ・メディア社、或いはハードディスクドライブの製造元は一切責任を負いません。必要に応じ、お客様ご自身で適宜バックアップ作業をしてください。

音楽ソースを聴く・CD に焼く・削除する

ミュージックライブラリ＞アルバム名と階層を辿れば、本機に収録された CD がアルバム名順に整列している画面が現れます。同様に、ミュージックライブラリ＞アーティストと階層を辿れば、本機に収録された CD がアーティスト名順に整列している画面が現れます。このようにメニューを辿って、画面に表示されているアルバム名、アーティスト名、トラック名などをタッチすれば、希望の音楽の再生が始まります。また、アルバム名、アーティスト名、トラック名などがハイライトされている画面で、本機前面パネルのプレーヤー操作ボタンの内、3B のボタンを押せば演奏が始まります。

再生中に本機前面パネルのナビゲーションボタン(2)の中央にある決定ボタン(白い丸印のボタン)を押すか、リモコンの OK ボタンを押すと左のような画面が現れます。

格付け(左端の星印のアイコン)

このアイコンをタッチすると、格付けをする(評価の星を付ける)画面に移動します。画面上部に薄く☆のマークが現れますので、☆のマークをタッチして格付けを変更します。最高評価は☆５個です。格付けを終了するには「保存」「取り消し」のアイコンをタッチします。

このメニューは収録してある音楽の評価のみを変更します。音楽データそのものには、一切変更はありません。

プレイリスト(左から２番目の＋印のアイコン)

このアイコンをタッチすると、「新しいプレイリストを作る」「プレイリストに追加(既存のプレイリストに追加する)」を選択する画面に移動します。

アルバムを書き込む(右から２番目の白い丸印のアイコン)

このアイコンをタッチすると、演奏中のアルバムを CD にコピーする(CD に焼く)作業をする画面に移動します。

削除(右端のバツ印のアイコン)

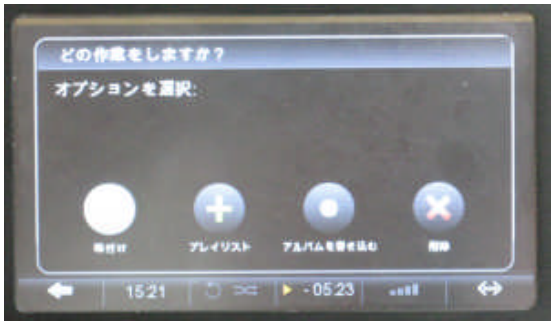
このアイコンをタッチすると、演奏中のアルバム、またはトラックの内容を削除する操作画面に移動します。

CD にコピーする(CD に焼く)

本機の内蔵ハードディスクドライブに収録された音楽を、CD-R ディスク、CD-RW ディスクにコピーすることが可能です。一般に、CD にコピーすることを “CD に焼く ” と表現します。

- **音楽ソフトを CD などのディスクに書き出す場合は、音楽用 CD-R、CD-RW をお使いください。**
- **書き出したディスクを鑑賞される場合は、本機を含む CD-R、CD-RW に対応した機器をお使いください。一部のカーオーディオ用機器など、CD-R、CD-RW に対応していない機器では再生することが出来ません。**

1. ミュージクライブラリ＞プレイリスト、と言うようにメニュー階層を辿り、CD に焼きたい内容をタッチして画面上でハイライトさせ、任意のトラックを再生します。CD に焼きたい「プレイリスト」または「アルバム」内のトラックであれば、どのトラックでも構いません。
2. 希望の「プレイリスト」「アルバム」の演奏中に、本機の前面パネルにあるナビゲーションボタン(2)中央の決定ボタンを押します。
3. 下のような画面が現れたら右下から 2 番目の「アルバムを書き込む」のアイコンをタッチします。
4. ディスクドライブ(5)に使用していない CD-R ディスク、または CD-RW ディスクを挿入します。ディスクを挿入すると、これ以降は自動的に進行します。コピーする音楽の総演奏時間などにより所要時間は大幅に変化しますが、概ね 5 分から 20 分程度で終了します。



デジタル入力から再生する

この機能は 4HD のみです。

本機の後面パネルに設置されているデジタル入力端子(9)を使用して、他のオーディオ機器のデジタル信号を本機に入力し、再生することが出来ます。本機のデジタル入力機能を使用するには音源＞デジタル入力とメニュー階層を辿ります。

液晶ディスプレイ(1)に「デジタル入力モードへ切り換え」と言う確認画面が現れますので、デジタル入力に切り換えるのであれば画面下側の「OK」アイコンをタッチします。デジタル入力に切り換えずに元に戻る場合は「取り消し」アイコンをタッチします。

デジタル入力に切り換えると「Your Olive device is currently in DIGITAL IN mode(ご使用中のオリーブ社製機器は、現在デジタル入力モードです)」と言う表示が液晶ディスプレイ(1)に現れます。デジタル入力からの再生中は、常にこの文字を液晶ディスプレイ(1)に表示しています。デジタル入力からの再生を終わるには、画面下段の「取り消し」アイコンをタッチします。

なお、デジタル入力端子(9)からの音楽信号を、本機の内蔵ハードディスクドライブに直接収録することはできません。一旦、外部のオーディオ機器のデジタル信号をコンピュータに取り込んでから本機に転送すれば本機の内蔵ハードディスクドライブに収録することは可能です。

本機のデジタル入力端子(9)は、最大で 192kHz ／ 24 ビットの外部オーディオ機器からのデジタル信号を受け入れることが可能ですが、希に他の外部オーディオ機器と同期することが出来ずに再生に失敗する場合があります。

外部オーディオ機器のデジタル信号の再生が出来なかった場合は、一旦ナビゲーションバー最左端の「←(左矢印アイコン)」をタッチして「デジタル入力モードへ切り換え」の画面表示に戻り、再度画面下・右側の OK アイコンをタッチしてデジタル入力への切り換えを試みてください。

「デジタル入力に接続した外部オーディオ機器からの信号に同期できない」と言う現象は、本機をはじめとするデジタルオーディオ機器特有の微妙な同期の揺らぎが原因です。正常に動作している機器同士を接続しても希に発生することがあり、故障ではありません。

音楽コレクション管理ソフト “MAESTRO”

“ マエストロ（MAESTRO）” はあなたの音楽コレクションの編集・管理するための、インターネット上のソフトウェアです。本機をコンピュータと一緒にネットワークに接続して使う場合、あなたの音楽コレクションを一層使いやすくすることが出来ます。なお、マエストロはインターネットブラウザソフト “ ファイアフォックス(FIREFOX)” 上で動作するソフトウェアです。あなたのコンピュータにファイアフォックスがインストールされていなければマエストロは動作いたしませんのでご注意ください。ファイアフォックスは下記 URL からダウンロードすることができますので、ご自分でインストールしてお使いください。

http://mozilla.jp/firefox/

- 「ファイアフォックス」をインストールしたコンピュータと本機を、同一のネットワーク(有線 LAN など)に接続しておかなければマエストロは使用出来ません。
- 「マエストロ」はファイアフォックス以外のブラウザソフトでは使用出来ません。インターネット・エクスプローラ、サファリ、グーグル・クロームなどでは使用出来ません。
- 「マエストロ」はインターネット上のソフトウェアですから、ご自身のコンピュータにダウンロード、インストールする必要はありません。
- 「マエストロ」は携帯電話では動作いたしません。
- アップルコンピュータ社製の「iPhone」「iPod」をお持ちの場合、「iMaestro」をインストールすれば「マエストロ」を使用することが出来、無線リモコンとしてご使用いただくことができます。

「ファイアフォックス」「マエストロ」「iMaestrro」などのご利用、ダウンロードは全て無償です。これらのソフトウェアのご利用やダウンロードに際し、何らかの対価の支払いが必要になることは一切ありません。

マエストロのセットアップ

最初に本機の IP アドレスを調べます。マエストロのセットアップの課程で IP アドレスの入力は必須となっています。

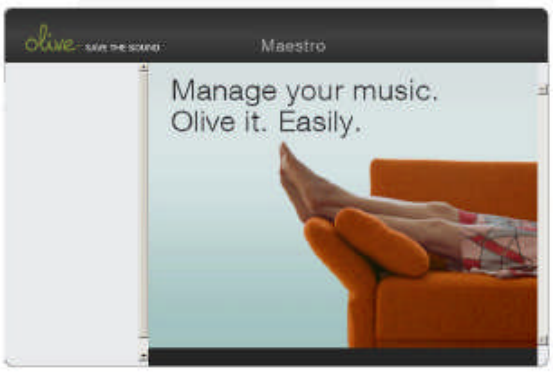
設定＞ネットワークセッティング＞ネットワーク情報の順でメニュー階層を辿ると、本機の IP アドレスが表示されますので、これを控えておきます。この時、IP アドレスは画面中央上側に xxx.xxx.xxx.xxx と言うように 4 群の数字から構成されて表示されます。各群の間はピリオドで区切られています。

次に本機と同じネットワークに接続されているコンピュータで、ファイアフォックスの URL を入力する箇所に、下記のように半角で入力します。

http://xx.x.x.xx:8163/maestro.php

xx.x.x.xx の部分は、前項で控えておいた本機の IP アドレスを入力します。

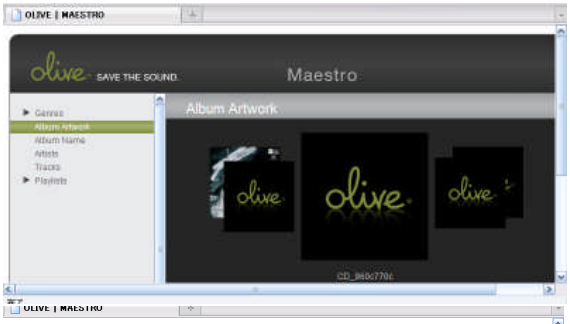
一度入力して「マエストロ」をお使いになると、上の画面のように URL が記録されます。



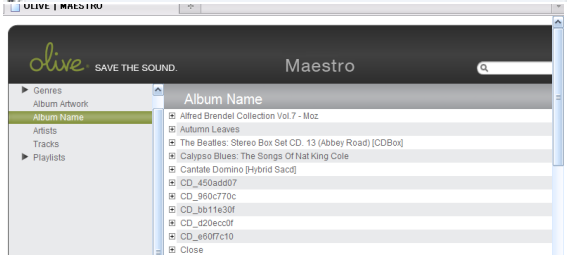
左のような「マエストロ」のホームページの画面がコンピュータのディスプレイに現れますので動作開始です。インターネットに接続している状態で画面左上のオリーブ社のロゴをダブルクリックするとオリーブ社のサイト(http://www.olive.us/)にジャンプします。

画面左側に「アルバムアートワーク」「アルバム名」「アーティスト名」などの文字が表示されますので､各文字をクリックすると画面右側に「アルバムアートワーク」「アルバム名」「アーティスト名」が表示されます。

「ジャンル」のみは、この文字をクリックすると画面左側の「ジャンル」の文字の下にクラシカル、ジャズ、ブルース、ロック・ポップ、おしゃべり(Spoken word)、その他、の文字が開きます。



この画面は、アルバムアートワークの項目をクリックして､画面右側にアートワーク(いわゆるジャケット写真)を表示させたものです。



この画面は、アルバム名の項目をクリックして、画面右側にアルバム名を表示させたものです。

画面左側の「アルバム名」の項目をクリックすると、画面右側には本機に収録なさったアルバム名の一覧が表示されます｡画面右側のアルバム名をクリックするとトラック名の一覧が現れます。

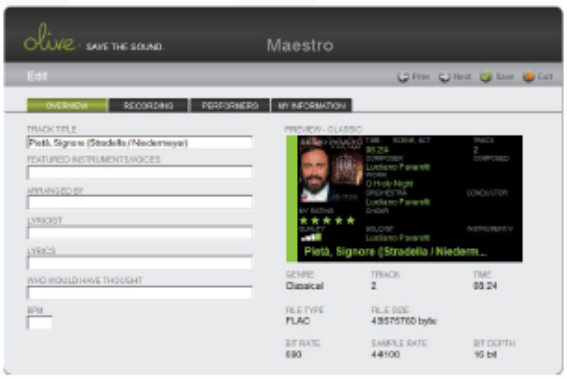
画面左側の「アルバムアートワーク」の項目をクリックすると、画面右側上半分には本機に収録なさったアルバムのアートワーク(いわゆるジャケット写真)が表示され、画面右側下半分には各アルバムに収録された曲目名(トラック名）の一覧が表示されます。

このように画面右側にトラック名を表示させていると、画面右側上部には「再生」「編集」「削除」などの表示が出て来ます。各画面に応じ、各状況下で作業出来る内容、実際に効力のある内容だけを表示しています。各状況下で、作業出来ない内容や効力の無い内容は表示されません。
貴方ご自身でライブラリに収録された音楽の編集、削除、収録されている音楽の再生、等はこの画面から行います。

削除(× 印のアイコン)

クリックして、ハイライトさせたトラックなどを削除します。この作業をすると「Are you sure to delete the track completely?（完全に削除しても良いですか？）」と言う確認メッセージが表示されますので、削除してしまって宜しければ「OK」をクリックしてください。

編集(鉛筆マークのアイコン)



音楽情報の追加や変更作業をします。例えば、クラシック音楽ではそのトラックの作曲家や作品分野､そして演奏家やアルバムの分野などがタグとして付け加えられます｡のことです｡本機は､この項目でメタデータを編集してやれば日本語での表示が可能となります｡メタデータ編集方法については後述します。

EXIT：終了する(斜め右上を向いた↑のアイコン)

編集内容を保存して作業を終了します。

新規：新しくプレイリストを作る(＋印のアイコン)

新しくプレイリストを作ります。

Next：次のトラックへ(右向き→のアイコン)

編集中のトラックを終了して、次のトラックの編集作業へ進みます。

Prev：前のトラックへ(左向き←のアイコン)

編集中のトラックを終了して、前のトラックの編集作業へ進みます。

再生(右向きの白い▽のアイコン)

画面右側に表示されるアルバム名、トラック名などをハイライトさせておき、「PLAY」の文字をクリックすると、当該曲目を再生します。
なお、「マエストロ」は音楽管理を主目的とするソフトウェアですから、「マエストロ」のみでは一旦開始した音楽再生を終了することはできません。音楽再生を終了する場合は、本機本体のプレーヤー操作ボタン(3)か、付属のリモコンをお使いください。

名前を変更(アルファベットの大文字の “A” のアイコン)

プレイリストの名称を変更します。このアイコンをクリックすると「Enter a ne name」と言う画面が開きますから、任意の名称を入力して「OK」をクリックします。日本語を入力することも可能です。

保存(チェックマーク)

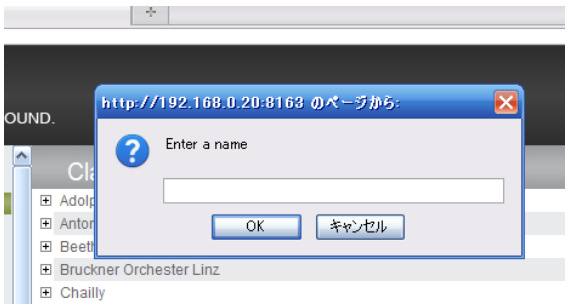
編集した内容を保存します。

アルバムワークの追加と変更

画面左側にある「アルバムアートワーク」をクリックすれば、アルバムアートワーク(いわゆるジャケット写真)を追加・変更することが出来ます。

アルバムジャンルの変更

新しく音楽のサブジャンルを設けたり、又、別のジャンルに移動させることが出来ます。既存のジャンルの下位に新しいサブジャンルタイトルを作るには、画面右上にある「新規」をタッチします。「新規」の文字には「＋」のアイコンが添えられています。



「新規」の文字をタッチすると、左のような確認画面が開きますので、任意のサブジャンル名を入力します。

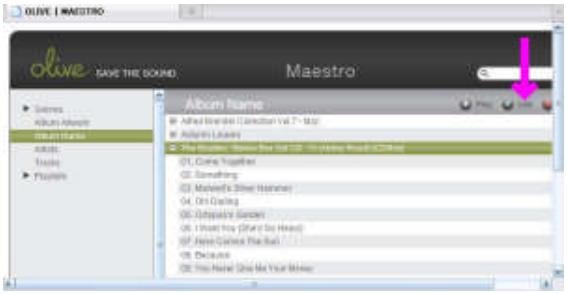
アルバムの集約

二つのアルバムを一つのアルバムに集約させることが出来ます。複数の CD が収納された「CD ボックスセット」などを 1 枚のアルバムに集約させたり、これらを連続再生させることが出来ます。アルバムの統合は、プレイリストの作成と同様に、トラックをドラッグ・アンド・ドロップするだけです。

本機で取り扱う事ができるファイル型式は、WAV、FLAC、AAC、MP3 型式です。「マエストロ」を使用した場合であっても WMA 型式など、これら以外のファイル型式は取り扱う事ができません。

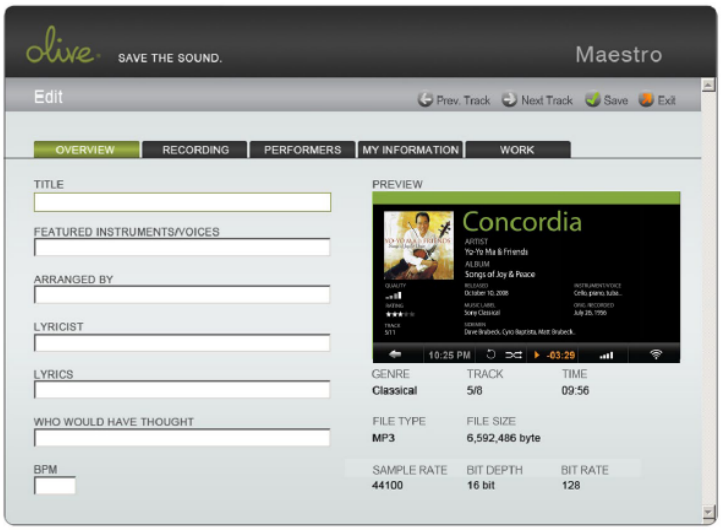
マエストロでメタデータを編集する

本機は、本機自体で日本語を表示・編集することはできませんが、「マエストロ」を使ってメタデータ(内蔵ハードディスクドライブに収録した音楽の付属情報)を編集してやれば、本機前面パネルの液晶ディスプレイ(1)などに日本語で表示してやることが出来ます。



左の画面のように、メタデータを編集したいアルバム、トラックなどを画面の右側に表示させて黄緑色(オリーブ色)にハイライトさせます。

矢印の箇所に鉛筆アイコンと「編集」の文字が表示されればメタデータの編集が出来る状態になっていますので、そのまま「編集」の文字をタッチして、下の編集画面を開きます。



画面左側にある白い枠内には日本語が入力できますので、お使いのコンピュータのマウスカーソルに入力したい箇所に移動して、キーボードより日本語を入力します。入力終了後にチェックマークの横にある「保存」の文字をクリックすれば編集は終了します。白い枠内には、日本語に限らず 2 バイト文字を含む言語の入力が可能です。

- ◆ これらの入力項目はオリーブ社で考案したメタデータ編集のひな形であり、「全ての項目を絶対に入力しなければならない」と言う性格のものではありませんが、極力トラック名、アルバム名、演奏家名などを入力なさっておけば、本機を便利にお使いいただけるものと思われます。
- ◆ リッピングされる CD のジャンルによっては、上記の画面と表示内容が異なる場合があります。

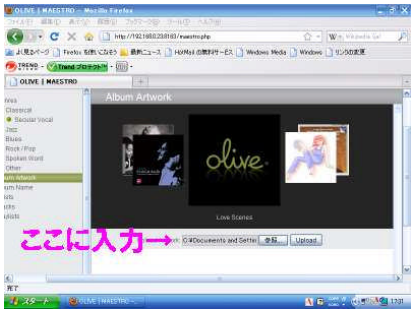
アルバムアートワークをアップロードする

「マエストロ」をお使いになると、アルバムアートワークを簡単に変更することが出来ます。本機で CD をインポートする際に、CD データベースにアルバムアートワークが収録されていない CD は代用としてオリーブ社のロゴが表示されますが、この画像もマエストロの編集機能をお使いになればご自分で編集することが出来ます。

マエストロの画面の左欄にある「アルバムアートワーク」の文字をクリックすると、画面の右側にアルバムアートワークの画面が開き、その下にアルバム名が表示されます。

アルバムアートワークは中央に大きく 1 枚表示され、左右に小さく 2 枚ずつ表示されていますから、希望のアルバムアートワークをクリックすると中央に大きく表示されるようになります。編集出来るのは画面中央に大きく表示されている 1 枚のみで、それ以外は編集出来ません。編集する場合は希望のアルバムアートワークを画面中央に大きく表示してやる必要があります。

画面最下段に「A」から「Z」のアルファベットが並んでいますので、アルバム名の頭文字をクリックすればアルファベット順にソートされてアルバムアートワークが整列します。



アルバム名下の「アルバムアートワークを編集」の横の四角枠に、アルバムアートワークに使用する画像ファイル名をフルパス(絶対パス)で指定し、「アップロード」ボタンをクリックすると画像が登録されます。

- 画像ファイル名はフルパスで指定する必要があります。例えば、デジタルカメラなどで撮影した画像をお使いになる場合は「P1234567.jpg」と言うようなファイル名だけではなく、パス名を含んで「E:¥dcim¥camera¥P1234567.jpg」と言うように絶対パスで指定します。
- ウィンドウズの PC でインターネット上の画像をお使いになる場合は、希望の画像ファイル上にマウスポインタをのせて右クリックすれば画像の情報を表示させるメニューが現れます。
- ファイアフォックスの場合は画像上で右クリックすると「画像の情報を表示」と言うメニューが現れますのでこのメニューを開くと、画面中程に画像の「アドレス(URL)」が「http://www.noahcorporation.com/OLIVE/OLIVE-4HD-101.jpg」と言うように表示されますのでアルバム名下の「アルバムアートワークを編集」の横の四角枠に省略せずに入

力して、「アップロード」ボタンをクリックします。

- ◆ インターネットエクスプローラの場合は画像上で右クリックすると「プロパティ」と言うメニューが現れますのでこのメニューを開くと、画面中程に画像の「アドレス(URL)」が「http://www.noahcorporation.com/OLIVE/OLIVE-4HD-101.jpg」と言うように表示されますのでアルバム名下の「アルバムアートワークを編集」の横の四角枠に省略せずに入力して、「アップロード」ボタンをクリックします。
- ◆ 希望のファイル名が判然としない場合は「参照」ボタンをクリックするとファイルを検索する画面が開きますから、マエストロをお使いのコンピュータ内部や、ネットワークに接続されているストレージ内部のファイルなどを探すことが出来ます。
- ◆ 画像は jpg フォーマットで、200 ピクセル ×200 ピクセル以上の大きさのものをご用意ください。縦横比が 1:1 になっていない画像をお使いになると、本機が自動的に 1:1 に変換しますので多少バランスが悪くなる場合があります。

iPhone/iPod touch･iPad とマエストロ

「iPhone」「iPod touch」もしくは「iPad」をお持ちであれば、無償のソフトウェア「iMaestro」をダウンロードして、「マエストロ」を使用することができます。「iMaestro」をインストールした「iPhone」「iPod touch」「iPad」は、無線リモコンとして使えるようになります。

「iMaestro」は iTunes ストアよりダウンロードすることが出来ます。

- ◆ 「iMaestro」は現在、「Olive App for iPod」もしくは「Olive App for iPad」の名称でそれぞれ iTunes ストアに登録されています。(2010年12月24日現在)

「iMaestro」のご使用、ダウンロードは無償です。このソフトのご使用、ダウンロードに際し、何らかの対価の支払いが必要になることは一切ありません。

バックアップとレストア(復元)

バックアップする

ご注意ください!!! バックアップ作業をすることにより、バックアップ作業に使用するハードディスクドライブに記録されていた内容は、全て消去されます。

何らかの不具合により本機の内蔵ハードディスクドライブが故障した場合に備え、ハードディスクドライブの内容をバックアップされることを強くお勧めします。ハードディスクドライブに収録された曲数が多い場合は、バックアップには最大で 10 数時間程度掛かる場合があります。本機でバックアップに使用出来るハードディスクは、下記の要件を満たしているものに限ります。

- USB 接続の外付けハードディスクドライブであり、
- FAT-32 型式でフォーマットされており、
- 本機の内蔵ハードディスクドライブの容量以上の大きさであり、
- USB1.1 ないしは USB2.0 規格に準拠した機器であること、

一般に市販されている「USB 接続の外付けハードディスクドライブ」は FAT-32 型式ではフォーマットされていませんので、お買い求めになったハードディスクドライブはご自分でフォーマットし直す必要があります。多くの場合、ハードディスクドライブには FAT-32 型式でフォーマットするためのユーティリティソフトが付属してきますのでご確認ください。「FAT-32 型式でフォーマットするためのユーティリティソフト」が付属していない場合はフリーソフトなどとして配布されている「FAT-32 型式でフォーマットするためのユーティリティソフト」をご使用ください。

本機のバックアップには FAT-32 型式でフォーマットされているハードディスクドライブが必要です。

1. セッティングメニューに入り、設定＞システムサービス＞バックアップ、とメニュー階層を辿ってください。
2. バックアップに関する確認画面が現れます。確認画面の内容は「音楽データを一括して USB 機器にバックアップします。USB 機器は内蔵 HDD 以上の容量が必要です。USB 機器内のデータは全て上書きされます。」と言うものです。
3. バックアップを続ける場合はレ点アイコン(継続)をタッチします。バックアップを止める場合は × 印アイコン(取り消し)をタッチします。
4. バックアップを継続する場合はレ点アイコン(継続)をタッチします。続いて「バックア

ップ用の USB 機器を接続してください」の文字が画面に表示されますので、USB 接続の外付けハードディスクドライブを本機裏面パネルの USB ポート(13)に接続してください。

5．作業内容を確認する画面が現れますので左から 2 番目の「バックアップ」をタッチすると、バックアップ作業が始まりますので、そのまま暫くお待ちください。

レストア(復元)する

ご注意ください!!! レストア(復元)作業をすることにより、本機の内蔵ハードディスクドライブに記録されていた内容は、全て消去されます。

1．セッティングメニューに入り、設定＞システムサービス＞レストア、とメニュー階層を辿ってください。

2．レストアに関する確認画面が現れます。確認画面の内容は「レストア開始、本機内の音楽データは全て上書きされます。」と言うものです。

3．レストアを継続する場合はレ点アイコン(継続)をタッチします。レストアを止める場合は×印アイコン(取り消し)をタッチします。

4．バックアップ用の USB 機器を接続してくださいと言うメッセージが画面二表示されますから、外付けハードディスクドライブを本機裏面パネルの USB ポート(13)に接続してください。

5．作業内容を確認する画面が現れますので右から 2 番目の「レストア」をタッチすると、レストア作業が始まりますので、そのまま暫くお待ちください。

ファームウェアのアップデート

オリーブ製品のファームウェアは定期的にアップデートされています。インターネットに接続出来る環境があれば、ご自分でファームウェアのアップデートをすることが可能です。ファームウェアのアップデートはインターネットに接続しての作業が最も簡単です。また、一般に無線 LAN よりも有線 LAN の方が転送速度が高速であることが多いので、なるべく有線 LAN をお使いになることをお勧めいたします。

1. 本機をインターネットに接続した状態で、本機のセッティングメニューより、次の通り階層を辿ってください。
   設定＞システムサービス＞ファームウェアのアップデート
2. 確認画面が現れますので画面下段左端の「ネットワーク」をタッチします。
3. アップデートが完了すると、本機は自動的に再起動します。
4. 本機前面パネルのスタンバイ ON/OFF スイッチ(4)を押して電源を切って下さい。
5. SYSTEM SERVICES で、タッチスクリーンを立ち上げます。
6. 黒の＋印に軽く触れてください。続いて画面は「WELCOME」画面になります。
7. タッチスクリーンに触れると、今まで通りにライブラリとメインスクリーンにアクセス出来ます。

本機をインターネットに接続することが出来ない場合は、何らかの方法で USB メモリなどにファームウェアをダウンロードしてください。本機のファームウェアは下記の URL からダウンロードしていただくことが出来ます。ファームウェアのダウンロードは無償です。
http://www.olivehifi.com/uk/contact/software/installation.html

本機前面パネルのナビゲーションボタン(2)の内、中央の〇ボタンと、▽ボタンを一緒に押すと液晶ディスプレイ(1)にプロンプトが表示されますので新しいファームウェアをダウンロードした USB メモリを、本機裏面パネル(12)の USB ポートに挿入してください。本機が USB メモリを認識すれば自動的に新しいファームウェアのインストールが開始されます。この時、「デバイスをマウントする」と言うような作業をする必要はありません。

本機のファームウェアが最新のものになっており、アップデートする必要がない場合は明示的にアップデート作業を行った場合であっても「既に最新のファームウェアがインストールされているのでアップデート不要」である旨を表示してアップデート作業をせずに終了します。

FAQ

CD が再生出来ない・CD を認識しない

本機は CD(コンパクト・ディスク)の再生は可能ですが、SACD、DVD オーディオディスク、ブルーレイディスクなどは再生出来ません。また、コピーコントロール CD、お客様がご自分で制作された CD ー R、CD ー RW などの再生は保証いたしません。

傷の有無等にかかわらず、一部の CD について認識しづらいものがございます。その際には同じ操作を何度か続けていただくか挿入し直すことにより正しく認識されることがあります。

日本語の入力が出来ない

本機の液晶ディスプレイは日本語の表示をすることが可能ですが、本機自体に日本語を入力する機能はありません。また、カナ漢字変換機能などもありません。本機自体で入力することが出来る文字種は英数字のみとなります。但し、本機と同じネットワーク上に接続されているコンピュータから「マエストロ」を使用し、日本語を含むデータを操作すれば、その内容は正しく表示することができます。

リモコンが動作しない

本機に付属しているリモコンの電池は動作確認用です。リモコンの動作が思わしくない場合は、新しい電池に交換してお試しください。電池はアルカリ電池、マンガン電池などをお使いください。充電式のニッケル水素電池、ニッケルカドミウム電池などは電圧が低いために正常に動作しなことがありますのでご注意ください。電池を交換される同一種類の電池を同時に交換してください。

本機の保証機関は 1 年間ですが、付属の電池は保証対象ではありません。保証期間内に自然故障による修理をご依頼いただいた場合であっても、リモコン用電池の消耗が原因である場合は有償修理となりますので、あらかじめお含みおきください。

ウィンドウズの PC で、「マエストロ」が起動しない

マエストロはインターネット・ブラウザ上で動作するソフトウェアですが、Firefo(ファイアフォックス)以外のブラウザでは動作いたしません。インターネット・エクスプローラ、サファリ、グーグルクローム、オペラなど、他のブラウザでは動作いたしません。Firefox は Mozilla Foundation(モジラ・ファウンデーション)から配布されているフリーソフトウェアで、日本国内では Mozilla Japan(モジラ・ジャパン)が配布・管理しています。Firefox のダ

ウンロード方法、インストール方法などは「http://mozilla.jp/」内の説明をご覧ください。

iPod の音楽をインポートできない

本機は iPod に収録された音楽を直接インポートすることはできません。悪しからずご承知おきください。

WMA 型式のファイルをインポート出来ない

本機は WMA 型式のファイルには対応しておりません。これは、DRM などのコピープロテクションコードを保有できるマイクロソフト社独自のファイル型式であるためです。本機が対応しているオープンファイル型式の WAV、FLAC、MP3、AAC 型式のファイルで音楽をお楽しみください。

裏面の USB 端子に USB メモリを挿しても再生出来ない

本機裏面の USB 端子は外付けハードディスクドライブを使用してのバックアップ・レストア用です。音楽ソースを収録した USB メモリなどをこの端子に挿しても音楽を再生することは出来ません。また、本機の内蔵ハードディスクドライブに収録された音楽ソースを、本機裏面の USB 端子に挿入した USB メモリに書き出すことはできません。

USB メモリをバックアップ・レストアに使用されることはお勧め出来ません。

アーティスト名、アルバム名、トラック名を変更できない

本機は、本機単独でアーティスト名、アルバム名、トラック名などを変更する機能はありません。これらのメタデータ(音楽データの付属情報)の編集をするには「マエストロ」をお使いいいただく必要があります。

ファームウェアをアップデートしたら、マニュアルの内容と食い違うようになってしまったが？

本機のファームウェアは定期的にアップデートされています。これに伴い、本機の操作方法も若干変化することがあります。日本語マニュアルは定期的にアップデートしたものを弊社サイトよりダウンロードしていただけるよう準備しておりますので、暫くお待ちください。

オリーブのロゴを表示した画面が現れ操作を受け付けなくなる

本機は自己診断機能を有していますので、ご使用状況に応じ自動的に自己診断モードに入り、外部からの操作を受け付けなくなることがあります。この時、白地画面に銀灰色のオリーブ社のロゴを表示し、その下には明褐色の文字で次のように表示されます。

Regular system check, Please wait.　This way take up to 20 minutes.
（定期的なシステムチェックなのでお待ちください。作業は 20 分程です。）

これはあくまでも、本機の自己診断機能に基づく作業ですので、終了まで暫くお待ちください。この表示が出ている間はスタンバイ ON ／ OFF ボタン以外のキー操作を受け付けませんが、作業を強制終了してしまうと自己診断をする意味が失われてしまいますから、そのままの状態で暫くお待ちください。

液晶ディスプレイに画像を表示しない

本機の液晶ディスプレイ(1)に表示している画面は、後面パネルの HDMI 出力端子(14)との切り替え表示になっています。HDMI 出力端子から画像を表示している状態では液晶ディスプレイ(1)に画像は表示しなくなります。

液晶ディスプレイ(1)と HDMI 出力端子(14)に同時に画像を表示することはできません。

出荷時の設定は液晶ディスプレイ(1)にのみ画像を表示し、HDMI 出力端子(14)には画像を表示しないようになっております。ナビゲーションボタン(2)の左・右の△ボタンを同時に押すと、液晶ディスプレイ(1)を消して HDMI 出力端子(14)のみに表示するように切り換えることができます。再度ナビゲーションボタン(2)の左・右の△ボタンを同時に押すと、HDMI 出力端子(14)の表示を消して、液晶ディスプレイ(1)のみに表示するように切り換えることができます。

3HD には HDMI 端子に接続した機器に画像を表示させる機能はありません(HDMI 端子自体がありません)。上記の操作をしても、画像の出力先を変更することは出来ません。

HDMI 端子に接続したテレビから音声が再生されてしまう

HDMI 端子から信号を出力させる機能は 4HD のみです。

HDMI(High-Definition Multimedia Interface)は映像と音声を再生・接続する規格ですので、本機でご使用になっているファームウェアのヴァージョンや接続された機器によっては音楽信号も再生されてしまう場合がありますが、これは本機の想定仕様外です。良い音で音楽をご鑑賞いただくために、本機は極力お手持ちのオーディオコンポーネントに接続してお使いください。

3HD には HDMI 端子に接続した機器に画像を表示させる機能はありません(HDMI 端子自体がありません)。

タッチパネルを操作しても反応しない

本機の液晶ディスプレイ(1)はタッチパネル式となっており、画面をタッチすれば各種の操作をすることが出来ます。タッチパネルは非常に繊細・精密ですので、ご使用状況によって

は希に操作を受け付けなくなる場合がありますので、そのような場合はタッチパネル・キャリブレーションを行ってください。本機本体の押しボタンスイッチや、付属のリモコンで正常に動作するにも拘わらず本機のタッチパネルで操作が出来ない場合は、概ねタッチパネル・キャリブレーションを行えば症状は解消します。タッチパネル・キャリブレーションの方法については、本取扱説明書の「電源を入れる・電源を切る」の次の項目をご参照ください。

デジタル入力端子に入った信号を再生できない

本機のデジタル入力端子(9)から他の外部オーディオ機器と同期することが出来ずに再生に失敗する場合があります。これは本機をはじめとするデジタルオーディオ機器特有の同期の揺らぎが原因です。正常に動作している機器同士を接続しても希に発生することがあり、故障ではありません。また、本機のデジタル入力端子は、明示的に接続を切り換えてから使用する必要があります。単にケーブルを接続しただけでは、入力端子として機能いたしません。

3HD にはデジタル入出力端子はありません。

デジタル出力端子から信号が出力されない・ノイズが出る

本機のデジタル出力端子は「SP-DIF 出力端子」と「TOS リンク出力端子」の 2 系統がありますが、このデジタル出力端子は排他利用です。この 2 系統のデジタル出力端子を同時に使用する事はできません。2 系統の端子に配線(結線)した場合は SP-DIF 出力端子が優先され、TOS リンク出力端子からは信号が出力されなくなりますのでご注意ください。また、2 つの端子に同時にケーブルを接続するとノイズを発生することがありますから、どちらか一方の端子のみを使用するようにしてください。

3HD にはデジタル入出力端子はありません。

Windous 7／Windous VISTA でフォーマットした USB 接続のハードディスクがレストアに使用出来ない

Windous 7、または Windous VISTA でフォーマットした USB 接続のハードディスクドライブなどの機器は、本機が想定したフォーマット型式とは多少異なります。そのままではレストアにお使いいただくことはできませんから、下記の手順で若干の作業をしていただく必要があります。

1. 本機裏面パネルの電源スイッチ(6)を操作して、電源を切ってください。前面パネルのスタンバイ on/off(4)ではなく、必ず裏面パネルのスイッチを操作してください。
2. バックアップ済みの USB 接続のハードディスクを本体裏面の USB ポート(13)に接続してください。
3. 前面パネルのナビゲーションボタンの内、決定ボタンと下向きの▽ボタンを押しながら

裏面パネルの電源スイッチ(6)を操作して電源を入れてください。この時、決定ボタンと下向きの▽ボタンはそのまま押し続けていてください。

4. 暫くすると、自動的にレストア作業が始まりますので暫くお待ちください。

この作業は、USB 接続のハードディスクを認識し直させるために必要な手順です。本機もハードディスクドライブも、それ自体が正常であっても必要な操作ですのでご承知おきください。

バックアップ用 USB ハードディスクが FAT-32 型式でフォーマット出来ない

本機でバックアップに使用する USB 接続のハードディスクは、事前に FAT-32 型式でフォーマットされていることが必要です。お手持ちのコンピュータで、FAT-32 型式でフォーマットなさるか、或いは FAT-32 型式でフォーマット済みとして販売されている機首をお使いください。コンピュータや OS、その他各種のハードウェアの BIOS(バイオス)などの制約により FAT-32 型式でフォーマット出来ない場合は、ハードウェアの BIOS を新しいものになさるか、周辺機器を販売している各メーカーが配布しているユーティリティソフトなどをお使いください。以下、参考になる各社の FAT-32 型式に関する記述をご紹介いたします。

Windows XP での FAT32 ファイル システムについて(マイクロソフト社殿)
http://support.microsoft.com/kb/310525/ja/

DiskRefresher LE での FAT32 フォーマット方法(アイ・オー・データ機器殿)
http://www.iodata.jp/support/advice/hdd/d_lef.htm

ドライバーダウンロードサービス “Disk Formatter”(バッファロー殿)
http://buffalo.jp/download/driver/hd/format.html

- ◆ 上記の URL は予告なく変更される場合がありますのでお含みおきください。
- ◆ これらのユーティリティソフトの使用方法や詳細に関しては、当該各社にお問い合わせください。

ネットワークに接続出来ない

有線 LAN を使用している場合は、LAN ケーブルの断線の有無をご確認ください。また、ルーターやアクセスポイントの電源が入っているかどうか、ナビゲーションバーの有線 LAN アイコンが点灯しているかどうかを再度ご確認ください。無線 LAN に接続出来ない場合は、本機と同じネットワークに接続されている他の機器が正常に動作しているかどうかを確認してください。本機だけが無線 LAN に接続出来ない場合は、本機が正しい DNS アドレス

をルーターから取得出来ていない可能性があります。
なお、3HD は有線 LAN 接続のみが可能、無線 LAN 接続は出来ません。一般に有線 LAN 接続の方が接続が安定しており通信速度が速いので、4HD をお使いの場合でも可能であれば有線 LAN 接続をお使いになるようお勧めいたします。

著作権・免責

音楽作品はいわゆる知的財産であり、音楽は一般に著作権保護の対象です。CD メディアとして販売されている音楽ソースや、インターネットなどからダウンロード販売で購入なさった音楽ソースなどのコピーの作成は、個人的な利用の範囲内でのみ認められています。ご自分で正当な方法で入手なさったこれらのメディアに含まれる音楽ソースを本機の内蔵ハードディスクドライブにコピーなさることは、個人的な利用の範囲内であれば一般に合法とみなされます。一方、これらの音楽ソースのコピーを著作権者の許可無く第 3 者に譲渡することは、有償・無償にかかわらず著作権の重大な侵害となりますのでご注意ください。

同様に、本取扱説明書に記載した内容も著作権保護の対象となります。お買い上げになったお客様や、本機の購入を検討されているお客様の個人的なご利用の範囲内であれば、本書の複写をお作りになることは差し支えありませんが、第 3 者に供与することを目的としての複写は固くお断りいたします。

本取扱説明書に記載した内容は、最新のファームウェアに準拠したものとしておりますが、ファームウェアのアップデートの時期と本機の出荷時期との兼ね合い等により、本機に記述した内容と実際の本機の動作が矛盾することがあります。当社ではこのようなことの内容に極力注意はしておりますが、万が一このような不都合があった場合はご容赦ください。また、お客様がご自身でファームウェアをアップデートされた場合は本取扱説明書の記載内容と齟齬を来す場合がありますので、ご承知おきください。

修理に際し、ハードディスクドライブが原因で故障が発生していた場合は、お客様にご連絡を差し上げた上でハードディスクドライブを別のものと交換いたします。ハードディスクドライブに収録された内容はお客様の個人情報に属するものですから、交換前のハードディスクドライブは修理完了品をお返しする際に併せてお返しいたしますが、収録内容に関しては保証いたしかねます。

本機の修理に際しハードディスクドライブの収録内容は必ずバックアップをした上で作業をいたしますが、故障原因がハードディスクドライブにある場合はバックアップ・レストアが出来ない場合があります。そのような場合であっても、お客様が本機の内蔵ハードディスクドライブに収録なさった内容に関しては保証いたしかねます。

保証について

この製品の保証期間は、お買い上げ後 1 年間です。通常のご使用で、万一保証期間内に故障した場合は、下記の事項を除き無償修理申し上げます。

- ご使用の誤り、および、不適切な修理、改造が行われたことによる故障および損傷。
- お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
- 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異、指定以外の使用電圧による故障及び損傷。
- 一般家庭用以外でのご使用（業務用など）された場合の故障及び損傷。
- 故障原因がリモコン用電池の消耗である場合。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書にお買い上げ年月日、お客様名の記入がない場合。保証書にお買い上げ販売店名の捺印が無い場合。或いは、保証書記載の字句を改変された場合。

保証期間内に故障が発生した場合、「お買い上げ店名の捺印」と「お買い上げ日」の記載がある保証書をご提示の上、保証内修理(無償修理)をご依頼ください。万一、保証書にお買い上げ販売店名の捺印などが無い場合は、「お買い上げ店名」「お買い上げ商品名」「お買い上げ日」が全て記載されている領収証、納品書などをご提示のうえください。

- ◆ 本機の付属リモコンの電池は動作確認用です。保証期間内であっても、電池の消耗が原因の故障は保証対象とはなりません。
- ◆ 本機の内蔵ハードディスクドライブはお買い上げ後１年以内の保証対象となりますが、**内蔵ハードディスクドライブに録音された内容に関しては保証いたしかねます。**
  必ずご自身でハードディスクドライブのバックアップはお取り下さい。

不測の事態を避けるため、内蔵ハードディスクドライブに収録された内容は適宜バックアップをなさってください。

本機の規格

寸法	下記の数値には突起部・脚等を含みます。 4HD・W441mm×H85mm×D325mm 3HD・W430mm×H70mm×D319mm 4HD に付属の無線 LAN 用アンテナを取り付けますと、少々飛び出しますので、設置場所の寸法にはご留意ください。
内蔵ハードディスクドライブ	2TB(4HD)・500GB(3HD)
収録フォーマット	WAV 型式・非圧縮 FLAC 型式・可逆圧縮 AAC 型式・非可逆圧縮(128kbit/s) MP3 型式・非可逆圧縮(128kbit/s・320kbit/s)
対応ディスクメディア	CD ／ CD-R ／ CD-RW
デジタル出力(4HD のみ)	S/P DIF(ピンジャック)同軸 1 系統 TOS オプティカル 1 系統
HDMI 出力(4HD のみ)	1 系統(操作画面の表示用)
アナログ出力	ピンジャックによるステレオ 1 系統(ラインレベル)
デジタル入力(4HD のみ)	S/P DIF(ピンジャック)同軸 1 系統
USB 入出力	サービスポートして 1 系統(USB1.1 ／ USB2.0 対応) （バックアップ専用・音声入出力には使用不可）

◆ デジタル出力(S/P DIF 出力端子と TOS オプティカル出力端子)は排他利用です。同時に接続した場合は S/P DIF 出力端子が優先され、TOS オプティカル端子からは出力が出なくなり、同時に出力させることはできません。また、無理に 2 つのデジタル出力端子を同時に使おうとするとノイズを発生することがあります。なお、3HD にはデジタル出力端子はありません。

◆ 本機で取り扱う事ができるファイル型式は、WAV、FLAC、AAC、MP3 型式です。WMA 型式など、これら以外のファイル型式は取り扱う事ができません。

株式会社ノア　東京都新宿区早稲田町 70 **番地** 8
www.noahcorporation.com